

# コンピュータの準備

Hewlett-Packard製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の規定に明示的に記載されているものに限られます。本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

HP以外によって製造された装置上のソフトウェアの使用または信頼性につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された所有権に関する情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、HPの書面による承諾なしに複写、複製、あるいは他言語へ翻訳することはできません。

Hewlett-Packard Company

P.O. Box 4010

Cupertino, CA 95015-4010

USA

Copyright © 2009 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本製品には、著作権によって保護されている技術が組み込まれています。この技術は、米国Macrovision Corporationおよびその他の権利所有者が所有する米国特許権およびその他の知的財産権によって保護されています。この技術を使用するには、米国Macrovision Corporationの許諾が必要です。米国Macrovision Corporationの許諾を受けていない場合、ご家庭または個人で鑑賞するなど限られた用途でのみ使用できます。また、本製品のリバース エンジニアリングおよび逆アセンブルは禁じられています。

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

WindowsロゴおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国/地域における商標または登録商標です。

Wi-Fi CERTIFIED 802.11n Draft 2.0

Draft 2.0は、2007年6月にWi-Fi Allianceによるテストで使用された、IEEE 802.11n規格の未承認バージョンです。

802.11n無線LAN（無線ローカル エリア ネットワーク）の規格はドラフト版の仕様であり、最終版ではありません。最終版の仕様がドラフト版と異なる場合、他の802.11n無線LANデバイスとの通信に関するこのデバイスの機能が影響を受ける可能性があります。

HPはテクノロジーの合法的な使用を推進しており、HPの製品を著作権法で許可されていない目的で使用することを是認するものではなく、推奨もしません。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

コンピュータの準備

HP Pavilion Desktop PC

初版 2009年3月

製品番号：517215-291

日本ヒューレット・パカード株式会社

## 表記規則

次の項では、この文書で使用されている表記規則について説明します。

### 警告、注意、および注

このガイドの全体にわたって、文章にアイコンが付いている場合があります。これらの文章は警告、注意、および注を示し、次のように使用されています。



**警告：**その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。また、その指示に従わないと、装置が破損して永久に使用できなくなったり、データが完全に失われて復元できなくなったりする恐れがある警告事項を表します。



**注意：**その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

---

**注：**補足情報を表します。

---



# 目次

コンピュータのセットアップ.....	1
コンピュータの設置状況の確認.....	1
スピーカまたはマイクの接続.....	4
ネットワークへの接続.....	7
テレビ信号とビデオ ケーブルの接続.....	8
<b>初めてコンピュータの電源を入れる場合 .....</b>	<b>9</b>
コンピュータの電源切断.....	10
コンピュータの再起動.....	12
インターネットへの接続.....	12
スピーカの音量の調整.....	14
マイクの選択.....	15
コンピュータの保護.....	16
インターネット コンテンツの制限.....	18
コンピュータでのMicrosoftのソフトウェア自動アップデートの設定.....	18
ユーザ アカウントの設定.....	19
ソフトウェアおよびハードウェア デバイスを追加するときのガイドライン.....	20
古いコンピュータから新しいコンピュータへのファイルおよび設定の転送.....	21
<b>コンピュータ固有の機能.....</b>	<b>23</b>
メモリ カード リーダの使用.....	23
HP Personal Media DriveおよびHPポケット・メディア・ドライブの使用.....	25
縦向きのCD/DVDドライブの使用.....	26
LightScribeテクノロジーの使用.....	27
リモコンの使用.....	28
HP Easy Backup.....	29
ユニバーサル トレイとケーブル マネージメント.....	29
ソフトウェアの使用.....	30
<b>詳細情報の参照.....</b>	<b>33</b>
[Windowsヘルプとサポート]の使用.....	33
サポートWebサイトへのアクセス.....	33
Webでの製品マニュアルの検索.....	34
画面での製品マニュアルの表示.....	34
[PCヘルプとツール]フォルダの使用.....	34
安全で快適なコンピュータの利用.....	35
<b>トラブルシューティングおよびメンテナンス .....</b>	<b>37</b>
コンピュータに関するトラブルの解決方法.....	37
ソフトウェアの問題の修復.....	56
メンテナンス.....	59
システム リカバリ.....	62
リカバリ手順実行後の作業.....	66
<b>索引.....</b>	<b>67</b>



# コンピュータのセットアップ



**警告：**電源装置は、コンピュータを購入した国/地域に対応するよう事前に設定されています。他の国/地域で使用する場合は、電源コンセントにコンピュータのプラグを差し込む前に、その国/地域の電圧条件を調べてください。



**警告：**コンピュータを電源システムに接続する前に、『サポート ガイド』の「規定および安全に関する情報」を参照してください。

『クイック セットアップ』の手順に沿って、コンピュータをセットアップします。

- 1 キーボードおよびマウスをコンピュータに接続します。
- 2 ディスプレイ（モニタ）をコンピュータに接続します。  
コンピュータによっては、HDMI（High-Definition Multimedia Interface）コネクタ付きのグラフィックスカードが装備されている場合があります。それを使用してディスプレイ（モニタ）をコンピュータに接続する場合、コンピュータの初回セットアップ時にサウンドを聴くには、アナログスピーカーもコンピュータに接続する必要があります。
- 3 電源をコンピュータに接続します。
- 4 『クイック セットアップ』の手順に沿って、コンピュータの電源を入れます。9ページの「初めてコンピュータの電源を入れる場合」を参照してください。

## コンピュータの設置状況の確認

- コンピュータを設置するときは、以下の点を守ってください。
  - 本体の前後に十分な間隔を空け、通気孔を塞がないような場所に置いてください。
  - 水、ほこり、湿気、油煙などの多い場所に設置しないでください。内部の温度が上昇して火災、故障、感電などの原因となることがあります。
  - すべてのケーブルを、作業の妨げにならないように配置します。ケーブルを通路、家具の下、または踏まれるような場所に敷設しないでください。
- モニタ、コンピュータ、オプション製品などを保護するために、すべての電源コードをサージ保安器に接続します。サージ防止機能のあるマルチソケット（テーブルタップ）、無停電電源装置（UPS）、または同様の機能を持つ機器を使用してください。  
コンピュータでTVチューナ、モデム接続、または電話接続を使用する場合は、それらの信号入力でもサージ保安器を使用してコンピュータを保護します。テレビケーブルまたは電話回線コードを、サージ保安器の入力と出力に接続してから、コンピュータに接続します。
- コンピュータに関する印刷物や最新情報が梱包箱に入っていますので、確認してください。

## その他のデバイスとコンピュータの接続

(一部のモデルのみ)

モニタ、キーボード、マウスなどの主要なハードウェア デバイスをコンピュータの背面に接続します。マウス、キーボード、モニタ、およびスピーカの接続については、『クイック セットアップ』を参照してください。

その他の周辺機器は、コンピュータの背面または前面のコネクタに接続できます (一部のモデルのみ)。

---

注：初めてコンピュータの電源を入れた後、初回セットアップを完了するまでは、他のデバイスをコンピュータに接続または追加しないでください。9ページの「初めてコンピュータの電源を入れる場合」を参照してください。

---

### コンピュータのコネクタ

コンピュータに装備されている可能性があるコネクタ (すべてではありません) を次の順序で、以下の表に示します。

- 電源コードおよびデバイス (マウス、キーボード、USBなど)
- ネットワーク
- ディスプレイのビデオ出力 (モニタまたはテレビ)




オーディオおよびスピーカのコネクタについては、4ページの「スピーカまたはマイクの接続」を参照してください。

テレビ コネクタおよびオーディオ付きビデオ入力については、8ページの「テレビ信号とビデオケーブルの接続」を参照してください。

---






注：コネクタの場所、用途、および数は、お使いのコンピュータによって異なる場合があります。

---

電源コード およびデバイス	アイコン/ ラベル	説明および機能
		電源コネクタ
		マウス (PS/2) コネクタ : マウスを接続します

---



電源コード およびデバイス	アイコン/ ラベル	説明および機能（続き）
		キーボード (PS/2) コネクタ: キーボードを接続します
		USB (Universal Serial Bus) 2.0コネクタ: USBマウス、USBキーボード、デジタルカメラ、およびその他のUSBデバイスを接続します
ネットワーク	アイコン/ ラベル	説明および機能
	ETHERNET	イーサネットLANコネクタ: イーサネット (RJ-45) ローカルエリアネットワーク (LAN) のハブまたはブロードバンドに接続します。この有線LANコネクタは、ネットワーク インタフェース アダプタ (ネットワーク インタフェース カードまたはNICとも呼ばれます) です。緑色のランプは接続が有効であることを示します

ディスプレイのビデオ出力	アイコン/ラベル	説明および機能
	VGA/Monitor 	VGA モニタ出力コネクタ : VGA モニタを接続します。DVI コネクタのみを持つモニタをコンピュータに接続するために、VGA-DVI アダプタが必要な場合があります
	HDMI	HDMI モニタ出力コネクタ (一部のモデルのみ) : HDMI モニタまたはテレビを接続します。DVI コネクタのみを持つモニタをコンピュータに接続するために、HDMI-DVI アダプタが必要な場合があります  注 : HDMI コネクタを介してサウンドを聴く場合は、設定を調整します。41 ページの「HDMI 接続ディスプレイの音が出ない」を参照してください
	DVI	デジタル ビデオ出力コネクタ (一部のモデルのみ) : デジタル対応モニタやディスプレイを接続します。モニタやディスプレイをコンピュータに接続するために、VGA-DVI または HDMI-DVI アダプタが必要な場合があります
	VGA-DVI	VGA-DVI アダプタ : テレビまたはモニタのビデオ ケーブルを調整して、コンピュータに接続できるようにします
	HDMI-DVI	HDMI-DVI アダプタ : テレビまたはモニタのビデオ ケーブルを調整して、コンピュータに接続できるようにします

## スピーカまたはマイクの接続

ここでは、スピーカ、ヘッドフォン、またはマイクをコンピュータに接続する方法について説明します。スピーカは、別売の場合と、モニタに装備されている場合 (一部のモデルのみ) があります。ヘッドフォンは別売です。

コンピュータのモデルによっては、コンピュータの背面にオーディオ コネクタが付いている場合があります。コンピュータの前面にコネクタが付いているコンピュータもあります。オーディオ コネクタは、コンピュータからアクティブ (電源のある) スピーカまたはスピーカ システム、ヘッドホン、入力デバイス (マイク、Web カメラ、オーディオ プレーヤなど) などに接続するためのステレオ ミニ コネクタです。

コンピュータに装備されている可能性があるオーディオ コネクタ (すべてではありません) を、以下の表に示します。

注 : コネクタの場所、用途、および数は、お使いのコンピュータによって異なる場合があります。

オーディオ コネクタ	アイコン/ ラベル	説明および機能
		<p>マイク入力コネクタ（ピンク色）：マイクを接続します</p> <p>マルチチャンネル オーディオ設定ではセンタ/サブウーファ ライン出力として機能する場合があります</p>
		<p>ヘッドフォン出力コネクタ（緑色）：ヘッドフォンを接続します</p>
		<p>オーディオ ライン出力コネクタ（黄緑色）：フロントの左右のアナログ スピーカを接続します</p>
		<p>オーディオ ライン入力コネクタ（青色）：コンピュータへ入力するCDプレーヤなどのアナログオーディオ デバイスを接続します</p> <p>マルチチャンネル オーディオ設定ではリア ライン出力として機能する場合があります</p>
	<p>Center</p> 	<p>センタ/サブウーファ出力コネクタ（金色）：マルチチャンネル オーディオ設定の場合に、センタ/サブウーファ スピーカを接続します</p>
	<p>Rear</p> 	<p>リア スピーカ出力コネクタ（黒色）：マルチチャンネル オーディオ設定の場合に、リア スピーカを接続します</p>
	<p>Side</p>	<p>サイド スピーカ出力コネクタ（灰色）：8スピーカーシステム（7.1）でサイド スピーカを接続します</p>

## スピーカの接続

スピーカは、別売の場合と、モニタに装備されている場合があります。

お使いのコンピュータでは、アクティブ（電源のある）スピーカ システムのみサポートします。つまり、スピーカ システムに専用の電源（電池、専用の電源コードなど）が必要です。

その他のマルチチャンネル スピーカを接続および設定する方法については、33ページの「サポートWebサイトへのアクセス」の手順に沿って、お使いのモデルのWebサポート ページを参照してください。

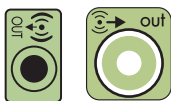
## ステレオ スピーカ システムの接続

アクティブ スピーカ（左右のステレオ スピーカ、2個のスピーカとサブウーファからなる2.1システムなど）をコンピュータに接続するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータの電源が入っていないことを確認します。スピーカ システムの電源がオフになっていて、プラグが抜かれていることを確認します。
- 2 スピーカ システムのケーブルをコンピュータの背面にある黄緑色のオーディオ ライン出力コネクタに接続します。

または

コンピュータに同梱されていた2.1スピーカまたはその他のマルチチャンネル スピーカの場合は（一部のモデルのみ）、サブウーファをコンピュータのオーディオ ライン出力コネクタに接続し、左右のスピーカをサブウーファに接続します。



---

注：スピーカ システムの電源を入れる時は、先に必ずコンピュータ本体の電源を入れてください。

---

## ヘッドフォンの接続

ヘッドフォンは別売です。

お使いのコンピュータには、前面にヘッドフォン コネクタ（黄緑色）があります。ヘッドフォン コネクタには、ヘッドフォンのアイコンが付いています。

ヘッドフォンを、コンピュータ背面のライン出力コネクタ（黄緑色）に接続することもできます。

ヘッドフォンを差し込むと、通常、スピーカ（およびサブウーファ）のサウンドはミュート（消音）されます。



## マイクの接続

コンピュータの背面にマイク コネクタがあります。一部のモデルのコンピュータには、2つ目のマイク コネクタが前面にあります。

マイクをコンピュータのマイク コネクタに接続します。



録音時の音量の調整またはマイクを選択については、15ページの「マイクを選択」を参照してください。

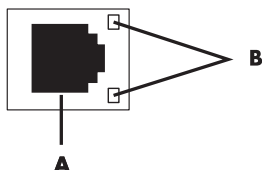
## ネットワークへの接続

ここでは、有線接続または無線接続によるネットワークへの接続について説明します。

### 有線のイーサネット ネットワーク接続のセットアップ

イーサネット接続は、ネットワーク インタフェース アダプタ、ネットワーク インタフェースカード、またはNICと呼ばれる場合もあります。イーサネット（10BaseT）または高速イーサネット（100または1000BaseTX）ネットワークへの高速または広帯域の接続を提供します。このインタフェースをLANなどのネットワークに接続した後、そのネットワークを介して、インターネットに接続できます。

- 1 イーサネット（ネットワーク）ケーブルをコンピュータ背面のイーサネット（RJ-45）コネクタ（**A**）および、ネットワーク ルータやLANデバイスに接続します。



- 2 コンピュータの電源を入れた状態で、イーサネット コネクタの隣のランプ（**B**）の状態を確認します。
  - **ACTIVITY**：ネットワーク データ転送中に黄色に点灯します。
  - **LINK**：ネットワーク接続が有効な場合に緑色に点灯します。

---

注：お使いのイーサネット コネクタにランプが1つしかない場合もあります。

---

### 無線ネットワーク接続のセットアップ

（一部のモデルのみ）

コンピュータに付属しているアンテナを使用して、IEEE 802.11b、802.11g、または802.11n（一部のモデルのみ）をサポートする無線ネットワークにコンピュータを接続できます。無線信号の範囲および感度を上げるには、外部アンテナをネットワーク カードの無線アンテナ コネクタに接続します。


---

注：無線のパフォーマンスを最大限にするには、コンピュータの上または周囲に障害物がない高い位置にアンテナを置いてください。

---

外部アンテナを使用するには、インターネット接続が可能な既存の無線LANが必要です。詳しくは、契約しているインターネット サービス プロバイダ（ISP）に問い合わせてください。

無線LANデバイスがコンピュータに適切に取り付けられていることを確認するには、13ページの「無線LANデバイスの取り付けおよびネットワークへの追加の確認」を参照してください。

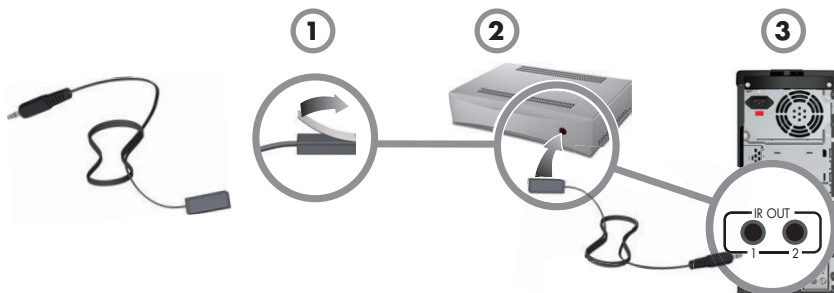
無線ネットワークのセットアップについて詳しく調べるには、タスクバーにある**Windows Vista**のスタートボタン  →【ヘルプとサポート】の順にクリックし、ヘルプの検索ボックスに「無線ネットワークのセットアップ」と入力して[Enter]キーを押します。

# テレビ信号とビデオ ケーブルの接続

## 赤外線ブラスタの使用

(一部のモデルのみ)

ケーブル テレビまたは衛星放送テレビのセットトップ ボックスを使用する場合は、リモート コントロール センサ ケーブル/赤外線ブラスタ (一部のモデルのみ) とコンピュータのコネクタを使用して、コンピュータからセットトップ ボックスを制御できます (一部のモデルのみ)。ブラスタの一方の端 (1) のテープの紙をはがして、セットトップ ボックスの赤外線レシーバ (2) に貼り付け、もう一方の端をコンピュータの背面にある赤外線出力 (IR OUT) コネクタ (3) に接続します。リモコンをコンピュータの前面にあるリモート コントロール センサに向けて操作します。

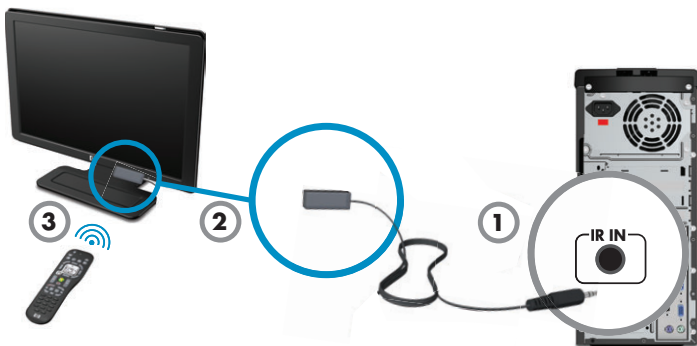


## 外付け赤外線レシーバの使用

(一部のモデルのみ)

コンピュータの前面にあるリモート センサがリモコンの信号を受信できない位置にある場合は、外付け赤外線レシーバ (一部のモデルのみ) を使用して、その赤外線レシーバを、リモコンからの信号を受信できる位置に配置します。

外付けレシーバをコンピュータ背面の赤外線入力 (IR IN) コネクタ (1) に接続します。赤外線レシーバ (2) を、リモコンからの信号を受信できる位置に取り付けます。リモコン (3) を外付け赤外線レシーバに向けて操作します。



# 初めてコンピュータの電源を入れる場合

『クイック セットアップ』に記載されている手順が完了したら、コンピュータの電源を入れることができます。

---

注：初めてコンピュータの電源を入れた後、初回セットアップを完了するまでは、他のデバイスをコンピュータに接続または追加しないでください。

---

コンピュータの電源を入れるには、以下の手順で操作します。

- 1 モニタの電源を入れます。
  - 2 コンピュータの電源を入れます。
  - 3 外付けスピーカーがある場合は、その電源を入れます。
  - 4 画面の説明に沿って操作し、コンピュータとMicrosoft® Windows Vista®をセットアップします。
    - お住まいの国または地域を選択する画面が表示された場合は項目を選択し、コンピュータの準備が終わるまで待ちます。(別の言語を選択した場合、1回の言語セットアップに30分程度かかることがあります。)
    - 画面の説明に沿って操作し、ユーザ登録を行い、アップデートを申し込み、オンライン接続します (一部のモデルのみ)。
    - ウィルス対策ソフトウェアが自動的に起動する場合があります。画面の説明に沿ってこのツールの設定を行います。これにより、コンピュータおよびプライバシーが保護されます。
  - 5 Windows Vistaのデスクトップが表示されたら、初回セットアップは完了です。
- コンピュータで作業を開始する方法については、このセクションの残りのトピックを参照してください。



## コンピュータの電源切断

Windows Vistaを使用している時には、コンピュータの修復を行ったり、新しいハードウェアやカードをコンピュータに取り付けたり、バッテリーを交換したりするなど安全上の理由がない限り、コンピュータの電源を切る必要はありません。

コンピュータのシャットダウンの代わりに、コンピュータをロックしたり、スリープモードまたはハイバネーションモードにしたりすることができます。電源タイマを設定すると、自動的にコンピュータをスリープモードまたはハイバネーションモードに変えることができます。

コンピュータには、以下の省電力状態があります。

- スリープモードでは、ユーザが速やかに作業に復帰できるように、ユーザの作業内容がメモリに保存されます。メモリの内容がハードドライブに保存された後に、省電力状態に入ります。スリープモードの間、コンピュータ本体のランプは点灯し続け、コンピュータはすぐにスリープモードを解除し、ユーザの元の作業を復帰させる準備ができています。
- ハイバネーションモード（詳細な電源設定として使用できます）では、システムメモリがハードディスク上の一時ファイルに保存され、ハードウェアがオフになります。コンピュータを再びオンにすると、ユーザが開いていたプログラム、フォルダ、文書が画面に復元されます。

Windows Vistaのスタート		
操作	ボタンに続けてクリックする項目	説明
シャットダウン	ロック ボタンの隣の矢印ボタン  →[シャットダウン]	コンピュータをシャットダウンすると、オペレーティングシステムが安全に停止され、コンピュータの電源が切れます  注：コンピュータをシャットダウンする前に、各プログラム ウィンドウの右上隅にある[X]をクリックして、開いているソフトウェアプログラムを閉じます  シャットダウン後にコンピュータを起動するには、コンピュータ前面または上部にある電源ボタンを押します
ロック	ロック ボタン 	コンピュータをロックすると、コンピュータは稼働し続けますが、ロックしたユーザまたは管理者のみがパスワードを使用してログオンできます



## Windows Vistaのスタート ボタンに続けてクリックする 項目

操作

説明

スリープ

- 電源 ボタン



または

- ロック ボタンの隣の矢印ボタン



→[スリープ]

スリープ モードを選択すると、コンピュータは省電力状態に入り、モニタは電源が切れているかのように何も表示されなくなります (スリープ モード中に電子メールの受信、FAXの受信、インターネットからの情報のダウンロードなどを行うようにコンピュータを設定できます)

注：キーボードにスリープ ボタン (右図参照) がある場合は、そのボタンを押してスリープ モードにすることもできます。



コンピュータをスリープ モードから復帰させるには、以下の手順で操作します

- キーボードのスリープ ボタンを押します

または

- コンピュータ前面または上部にある電源ボタンを短く押します

ハイバネーション

ロック ボタンの隣の矢印ボタン



→[休止状態]

[休止状態]がない場合は、コンピュータが自動的にハイバネーション モードに変わるように設定することができます。11ページの「自動的なスリープまたはハイバネーション モード」を参照してください

ハイバネーション モードを選択した場合、コンピュータのメモリ上の内容すべてがハードドライブに保存され、モニタとハードドライブがオフになり、コンピュータ自体もオフになります。コンピュータを再びオンにすると、ユーザが開いていたプログラム、フォルダ、文書が画面に復元されます

コンピュータをハイバネーション モードから復帰させるには、コンピュータ前面または上部にある電源ボタンを短く押します

## 自動的なスリープまたはハイバネーション モード

指定した時間の間コンピュータが使用されなかった場合、自動的にスリープまたはハイバネーション モードに変わるようにコンピュータを設定できます。自動的にコンピュータのモードを変えるには、電源管理設定を変更します。

- 1 タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタンをクリックします。
- 2 [コントロール パネル]をクリックします。
- 3 [システムとメンテナンス]をクリックします。
- 4 [電源オプション]をクリックします。

- 5 左側にある[コンピュータがスリープ状態になる時間を変更]をクリックします。
- 6 スリープ モードの場合は、[コンピュータをスリープ状態にする]ドロップダウン メニューからオプションを選択し、[変更の保存]をクリックします。  
または  
ハイバネーション モードの場合は、以下の手順で操作します。
  - a [詳細な電源設定の変更]をクリックします。
  - b [スリープ]の隣のプラス記号 (+) をクリックします。
  - c 項目を選択してから、[適用]をクリックします。
  - d [OK]をクリックします。

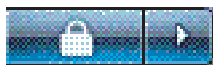
## コンピュータの再起動

コンピュータを再起動すると、コンピュータが初めから起動しなおされます。再起動は、ソフトウェアを使用中に発生する多くの問題を解決できる、最も簡単かつ効果的な手段です。

また、ソフトウェア プログラムまたはハードウェア デバイスをコンピュータに追加した時に、コンピュータの再起動が必要になることがあります。

コンピュータを再起動するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタンをクリックします。
- 2 ロック ボタンの隣の矢印ボタン（右図参照）をクリックします。
- 3 [再起動]をクリックします。



または

コンピュータ前面または上部にある電源ボタンを短く押します。

## インターネットへの接続

コンピュータをインターネットに接続するには、ローカル エリア ネットワーク (LAN) またはデジタル加入者回線 (DSL) を使用します。接続方法について詳しくは、インターネット サービス プロバイダ (ISP) に確認してください。

- 1 ハードウェアの接続については、1ページの「コンピュータのセットアップ」を参照してください。以下を参照する必要があります。
  - ネットワーク接続の場合は、7 ページの「ネットワークへの接続」を参照してください。無線LANデバイスの取り付けを確認するには、13ページを参照してください。

- 2 インターネットに接続するには、以下の手順で操作します。
  - ISPに申し込みます。ISPのアカウントをすでに持っている場合、この手順は省略し、ISPからの指示に沿って操作してください。
  - コンピュータの初回セットアップ時にインターネット サービスの設定を行わなかった場合は、[コントロール パネル]の[ネットワークとインターネット]からインターネット サービスの設定を行います。
    - a タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタンをクリックします。
    - b [コントロール パネル]をクリックします。
    - c [ネットワークとインターネット]をクリックして、[ネットワークと共有センター]をクリックします。
    - d 左側にある[接続またはネットワークのセットアップ]をクリックします。
    - e 接続の方法を選択します。
    - f ISPの情報を入力し、インターネット サービスを設定します。
- 3 ISPのデスクトップ アイコンをダブルクリックし、ログインします（一部のISPでは操作が異なります）。
- 4 インターネットに接続します。ISPを介して接続する必要があります。
  - ダイアログアップの場合のみ、ISPのデスクトップ アイコンをダブルクリックし、ログインします。
- 5 Webブラウザを開き、インターネットを参照します。

任意のWebブラウザを使用できますが、多くのコンピュータにはMicrosoft Internet Explorerがインストールされています。Internet Explorerを開くには、以下の手順で操作します。

  - a タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタンをクリックします。
  - b [**Internet Explorer**]をクリックします。

---

注：インターネットへの接続に問題がある場合は、48ページの「インターネット アクセス」を参照してください。

---

#### 無線LANデバイスの取り付けおよびネットワークへの追加の確認

Windows Vistaオペレーティング システムの[デバイス マネージャ]を使用して、無線LANデバイスがコンピュータに適切に取り付けられているかどうかを確認できます。

- 1 タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタンをクリックします。
- 2 検索の開始ボックスに「デバイス マネージャ」と入力して検索し、[デバイス マネージャ]をクリックして[デバイス マネージャ]ウィンドウを開きます。
- 3 [ネットワーク アダプタ]をダブルクリックします。無線LANデバイスの一覧が表示されます。無線LANデバイスの名前には「ワイヤレス」、「ワイヤレスLAN」、「802.11」などの用語が含まれている場合があります。

---

注：無線LANデバイスが一覧にない場合は、コンピュータに無線LANデバイスが取り付けられていないか、デバイスのドライバが適切にインストールされていません。

---

- 4 タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタンをクリックします。
- 5 検索の開始ボックスに「ネットワークと共有センター」と入力して検索し、[ネットワークと共有センター]をクリックして、[ネットワークと共有センター]ウィンドウを開きます。
- 6 [ネットワークに接続]をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

## 無線セキュリティ機能の使用

家庭用無線LANや既存の公共無線LANへのアクセスをセットアップする時は、常にセキュリティ機能を有効にして、ネットワークを不正なアクセスから保護してください。最も一般的なセキュリティレベルは、WPAパーソナル(Wi-Fi Protected Access Personal)およびWEP(Wired Equivalent Privacy)です。

ネットワークをセットアップする場合は、以下に示すセキュリティ対策を1つ以上行います。

- ルーターでWAPパーソナルまたはWEPセキュリティ暗号化を有効にします。
- 初期設定されているネットワーク名 (SSID) およびパスワードを変更します。
- ファイアウォールをセットアップします。
- Webブラウザでセキュリティ設定を行います。

## スピーカの音量の調整

音量を調整するには、いくつかの方法があります。Windows Vistaのタスクバーにある音量アイコンを使用して、スピーカの音量を設定します。その後、以下を使用して音量を調整できます。

- キーボードの音量のつまみまたはボタン (一部のモデルのみ)
- スピーカの音量のつまみ (一部のモデルのみ)

スピーカの音量を設定するには、タスクバーの音量アイコンを使用して、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにある**Realtek High Definition Audio**の音量アイコン (右図参照) をクリックします。
- 2 スライダをクリックおよび移動して、音量を調整します。
- 3 目的の音量レベルに調整できたら、ウィンドウの外側をクリックして、ウィンドウを閉じます。



または

- 1 タスクバーの**[音量]**アイコン (右図参照) を右クリックして、**[音量ミキサを開く]** をクリックします。  
[音量ミキサ]の設定ウィンドウが開きます。
- 2 スライダをクリックおよび移動して、音量を調整します。
- 3 目的の音量レベルに調整できたら、右上隅にある **[X]** をクリックしてウィンドウを閉じます。



オーディオの問題については、46ページの「オーディオおよびスピーカ」のトラブルシューティングの各項目を確認してください。詳しくは、[Windowsヘルプとサポート]を開くか、またはサポートWebサイトを参照してください (33ページの「詳細情報の参照」を参照)。

## HDMI接続ディスプレイの有効化

(一部のモデルのみ)

HDMI接続ディスプレイ (モニタ) からサウンドを聴くには、初めてコンピュータの電源を入れて初回セットアップを完了した後に、いくつかの設定を調整する必要があります。設定を変更してディスプレイからのサウンドを聴くには、41ページの「HDMI接続ディスプレイの音が出ない」を参照してください。

## マイクを選択

コンピュータのマイク コネクタは、そのまま使用できるようになっています。複数のマイクを接続している場合は、Windows Vistaで使用するマイクを選択します。

注：Webカメラまたはオーディオ プレーヤをコンピュータに接続している場合、Windows Vistaでは、そのデバイスからのオーディオ入力がマイク入力として認識される可能性があります。

Windows Vistaで使用するマイクを選択するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーの**[音量]**アイコン（右図参照）を右クリックして、**[録音デバイス]**をクリックします。[サウンド]ウィンドウが開きます。
- 2 **[録音]**タブを選択します。
- 3 **[マイク]**をダブルクリックして、**[全般]**タブを選択します。
- 4 使用するマイクのコネクタをクリックして、**[適用]**をクリックします。
- 5 **[OK]**をクリックします。



## Windows Vistaでのマイクの録音レベルの調整

マイクの録音レベルを調整するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーの**Realtek HD**オーディオマネージャの**[音量]**アイコン（右図参照）を右クリックして、**[オーディオ デバイス]**をクリックします。
- 2 **[録音]**タブをクリックします。
- 3 **[マイク]**をダブルクリックして、**[全般]**タブをクリックします。
- 4 使用するマイクのコネクタをクリックします。
- 5 **[レベル]**タブをクリックします。
- 6 スライダをクリックおよび移動して、マイクの録音レベルを調整します。
- 7 **[OK]**をクリックし、もう一度**[OK]**をクリックします。



## コンピュータの保護

以下のものを利用することにより、コンピュータ、個人用設定、およびデータをさまざまな危険から保護します。

- パスワード
- ウィルス対策ソフトウェア
- ファイアウォール ソフトウェア
- 重要なセキュリティ アップデート

注：セキュリティ機能に抑止効果はありますが、ソフトウェアによる攻撃、コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

コンピュータへの脅威	コンピュータの機能
コンピュータまたはユーザ アカウントの不正な使用	ユーザ パスワード
コンピュータ ウィルス	ウィルス対策プログラム
データへの不正なアクセス	ファイアウォール プログラム Windows Vista アップデート
セットアップ ユーティリティ、BIOS 設定、およびその他のシステム識別情報への不正なアクセス	管理者パスワード
コンピュータに対する現在または将来の脅威	Microsoft が提供する Windows Vista の重要なセキュリティ アップデート

## パスワードの使用

パスワードは、コンピュータの情報を保護するためにユーザが指定する文字列です。情報へのアクセスの制御方法に応じて、複数のパスワードを設定することができます。パスワードは、コンピュータにインストールされた Windows Vista オペレーティング システムで設定することができます。



注意：コンピュータにアクセスできなくなることを防ぐため、自分で設定したパスワードは書き留めておいてください。パスワードの設定、変更、削除を行うとき、パスワードは表示されないため、各パスワードをすぐに記録し、他人の目に触れない安全な場所に保管しておく必要があります。コンピュータ内のファイルにパスワードを保存しないでください。

Windows Vista の複数のセキュリティ機能に同じパスワードを使用できます。Windows Vista で設定したパスワードは、Windows Vista の画面で入力する必要があります。

Windows Vista のパスワードについて詳しく調べるには、タスクバーにある **Windows Vista** のスタート ボタン→[ヘルプとサポート]の順にクリックし、[Windows ヘルプとサポート]のヘルプの検索ボックスに「パスワード」と入力して [Enter] キーを押します。33 ページの「[Windows ヘルプとサポート]の使用」を参照してください。

## ウィルス対策ソフトウェアの使用

コンピュータで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、コンピュータがコンピュータ ウィルスの危険にさらされます。コンピュータ ウィルスに感染すると、オペレーティング システム、ソフトウェア プログラム、ユーティリティなどが使用できなくなる場合があります。

ウィルス対策ソフトウェアを使用すると、既知のウィルスを検出および駆除したり、多くの場合はウィルスの被害にあった箇所を修復したりできます。新しく発見されたウィルスからコンピュータを保護するには、ウィルス対策ソフトウェアを最新の状態にしておく必要があります。

コンピュータにプリインストールされているウィルス対策プログラムには、ウィルス対策およびファイアウォール コンポーネントが含まれます。このソフトウェアの試用期間中は、無料で保護機能をアップデートできます。試用期間を過ぎた後も新しいウィルスからコンピュータを保護するには、延長アップデート サービスを購入します。ウィルス対策ソフトウェアの使用方法和アップデート方法、および延長アップデート サービスの購入方法については、ウィルス対策プログラム内で確認できます。

コンピュータ ウィルスについて詳しく調べるには、タスクバーにある **Windows Vista** のスタート ボタン→[ヘルプとサポート]の順にクリックし、[Windowsヘルプとサポート]のヘルプの検索ボックスに「ウィルス」と入力して[Enter]キーを押します。33ページの「[Windowsヘルプとサポート]の使用」を参照してください。

## ファイアウォール ソフトウェアの使用

コンピュータで電子メールやネットワークを使用したりインターネットにアクセスしたりする場合、使用者や使用しているコンピュータの情報を第三者が不正に取得してしまう可能性があります。プライバシーを保護するには、ファイアウォール ソフトウェアを使用します。

- Windows Vistaには、ファイアウォール ソフトウェアが含まれています。
- コンピュータにプリインストールされているウィルス対策プログラムにも、ファイアウォール コンポーネントが含まれています。

ファイアウォールは、ログ、レポート、自動アラームなどの機能を使って、コンピュータでの送受信の流れを監視します。

状況によっては、ファイアウォールはインターネット ゲームへのアクセスをブロックしたり、ネットワーク上のプリンタやファイルの共有を妨害したり、承認済みの電子メール添付ファイルをブロックしたりすることがあります。この問題を一時的に解決するには、ファイアウォールを無効にして目的のタスクを実行した後、再びファイアウォールを有効にします。問題を完全に解決するには、ファイアウォールを再設定します。

## インターネット コンテンツの制限

インターネットは多様な情報を提供していますが、情報によっては全利用者に適していないものもあります。コンテンツ アドバイザ (Internet Explorerの機能) を使うと、以下のことを実行できます。

- パスワードの設定
- インターネット アクセスの制御
- コンピュータを使用するユーザが表示できないWebサイト リストの作成
- コンピュータ ユーザが許可を得て表示できるコンテンツと許可なく表示できるコンテンツの種類調整

コンテンツ アドバイザで規制レベルを設定した場合、ユーザは、承認するよう設定されたWebサイトおよびその他のページを表示できます。しかし、規制されていないWebサイトまたはWebページを表示するには、設定済みのコンテンツ アドバイザのパスワードを入力する必要があります。このため、ユーザがパスワードを知らない場合、規制されていないページ (ヘルプとサポートやInternet Explorerであっても) はどれも表示できません。

コンテンツ アドバイザを有効にするには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにあるスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[Internet Explorer]**をクリックします。
- 3 **[ツール]**→**[インターネット オプション]**の順にクリックします。
- 4 **[コンテンツ]**タブをクリックします。
- 5 **[コンテンツ アドバイザ]**領域で、**[有効にする]**をクリックします。
- 6 **[全般]**タブをクリックし、**[パスワードの作成]**をクリックしてから、パスワードを入力します。
- 7 **[OK]**をクリックし、もう一度**[OK]**をクリックします。

規制されていないサイトまたは承認したページへのアクセスを許可するには、以下の手順で操作します。

- 1 Webサイトを開きます。
- 2 パスワード ウィンドウが表示されたときに、**[このWebページを常に表示する]**、または**[今回のみ表示する]**オプションを選択します。

## コンピュータでのMicrosoftのソフトウェア 自動アップデートの設定

Microsoftでは、継続的にWindows Vistaオペレーティング システムをアップデートしています。Windows Vista Updateを毎月実行してアップデートをインストールするか、または自動更新機能を使用してオペレーティング システムを最新の状態に保つよう to してください。

インターネットに接続している場合、重要なアップデートが利用できるになると、Windows Vista Updateはポップアップ メッセージまたは通知領域のアイコンを通して自動的にユーザに通知します。Windows Vista Updateのメッセージが表示されたら、アップデートをシステムにダウンロードすることを許可します。毎週または毎月、システムを更新している場合、ダウンロードにかかる時間はわずかです。





注意：お使いのコンピュータをセキュリティの侵害やコンピュータ ウィルスから保護するため、通知を受け取った時点で速やかに**Microsoft**社が提供する重要なアップデートをすべてインストールしてください。

オペレーティング システムおよびその他のソフトウェアの追加アップデートが、コンピュータの出荷後にリリースされている可能性があります。利用可能なすべてのアップデートをダウンロードし、コンピュータにインストールします。

## ユーザ アカウントの設定

複数のユーザとコンピュータを共有する場合、各コンピュータ ユーザのユーザ アカウントを設定できます。Windows Vistaは、ユーザ アカウントの情報を使用して、そのコンピュータ ユーザがアクセスできるファイルやフォルダ、どんな場合にコンピュータに変更を加えることができるか、および個人設定を判別します。各ユーザは、自分のファイルおよび設定にのみアクセスできません。

管理者は、ユーザ アカウントの設定時に、各コンピュータ ユーザの権限を設定します。たとえば、ユーザがアクセスすることを許可するソフトウェア プログラムを設定できます。Windows Vistaでは、3種類のユーザ アカウントを利用できます。

- 管理者：  
他のユーザのアカウントの種類の変更、パスワードの変更、システム レベルの設定の変更、コンピュータ上のすべてのファイルへのアクセス、Windows Vistaに対応しているソフトウェアおよびドライバのインストールを行えます。  
(Windows Vistaでは、管理者ユーザ アカウントが少なくとも1つ必要です。)
- 制限付き標準ユーザ：
  - 他のユーザの設定やパスワードを変更できません。制限されたアカウントでは、一部のソフトウェアをインストールまたは実行することができません。
  - 制限されたアカウントの画像を変更したり、自分のアカウント パスワードを作成、編集、削除したりすることができます。
- ゲスト：
  - ほとんどのソフトウェアを使用でき、他のユーザまたはコンピュータのセキュリティに影響を与えないシステム設定を変更できます。
  - 他のユーザの設定やパスワードの変更、またはソフトウェアのインストールはできません。
  - パスワードで保護されたファイル、フォルダ、設定にはアクセスできません。

同じコンピュータに複数ユーザ アカウントを作成した場合、利点もありますが欠点もあります。

- 複数ユーザ アカウントの利点：
  - 個々のユーザ設定を作成できる
  - 特定のユーザに対し、ソフトウェアへのアクセスを制限できる
- 複数ユーザ アカウントの欠点：
  - メモリ (RAM) 使用量が増加する
  - ディスク クリーンアップ時に複数の [Temporary Internet Files] フォルダを削除しなければならない
  - バックアップするデータが多くなる
  - ウィルス スキャンの実行時間が長くなる

ユーザ アカウントを作成または変更するには

ユーザのアカウントを変更するには、管理者アカウントでログインしていることが必要です。コンピュータをセットアップするときに作成したアカウントが、管理者アカウントです。

- 1 タスクバーにある **Windows Vista** のスタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします。
- 2 [ユーザー アカウントと家族のための安全設定]の下の[ユーザ アカウントの追加または削除]をクリックします。[ユーザー アカウント制御]ウィンドウで、[続行]をクリックします。
- 3 [新しいアカウントの作成] をクリックするか、または変更するアカウント ユーザ名をクリックします。
- 4 新しいアカウントを作成する場合は、画面の説明に沿って操作し、既存のアカウントを変更する場合は、実行する操作項目をクリックします。

## ソフトウェアおよびハードウェア デバイスを追加するときのガイドライン

コンピュータをセットアップし、初回セットアップを完了した後、ソフトウェア プログラムまたはハードウェア デバイスを追加することもできます。以下の重要なガイドラインをお読みください。

- 追加する前に、Microsoftの[システム復元]プログラムを使って復元ポイントを作成します。復元ポイントは、コンピュータ設定のスナップショットです。[システムの復元]を利用することにより、安定した設定を確保できていることとなります。
- コンピュータに対応しているソフトウェアの選択：新しいソフトウェアが対応しているオペレーティング システム、メモリ、その他の要件を確認します。
- ソフトウェアの製造販売元が提供している説明に沿って操作し、新しいソフトウェアをインストールします。解決できない点がある場合は、製造販売元の説明書またはサポート窓口で確認してください。
- ウィルス対策ソフトウェアの場合は、既存のソフトウェア プログラムをアンインストールした後、再インストールまたは新しいウィルス対策ソフトウェアのインストールを実行します。

---

注：ライセンスのあるオリジナルのソフトウェアのみを使用してください。不正にコピーされたソフトウェアをインストールすることは違法行為であり、不安定な動作またはコンピュータのウィルス感染を招く危険性があります。

---

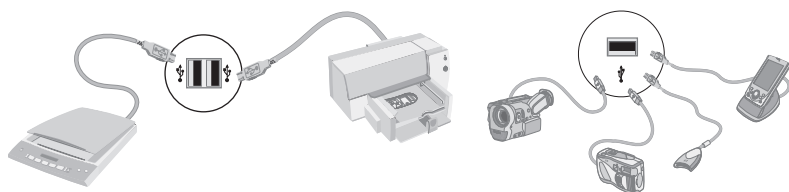
## USBデバイスの接続

USB周辺機器をコンピュータに接続するには、空いているUSBコネクタのどれかを使用します。周辺機器には、プリンタ、スキャナ、ビデオカメラ、デジタル写真カメラ、メモリカードリーダー、PDA (Personal Digital Assistant)、ハンドヘルドコンピュータなどがあります。詳しくは、デバイスに付属の説明書を参照してください。

---

注：お買い上げいただいたコンピュータには、プリンタ、スキャナ、ビデオカメラ、デジタル写真カメラ、メモリカードリーダー、PDA、ハンドヘルドコンピュータなどの周辺機器は付属していません。

---



## 古いコンピュータから新しいコンピュータへのファイルおよび設定の転送

CD、DVD、メモリスティック、パーソナル・メディア・ドライブなどのメディアを使用するか、またはWindows®転送ツール ケーブルを使用して、古いコンピュータから新しいコンピュータにファイルをコピーすることができます。ファイルの転送、およびWebブラウザのお気に入りやアドレス帳などの特定の設定のコピーを行うには、Windows Vistaに含まれているWindows転送ツール ソフトウェアを使用します。

Windows転送ツール ソフトウェアでは、ファイルおよび設定を、記憶装置にコピーするか、または古いコンピュータに接続された転送ツール ケーブルを介してコピーすることができます。転送ツール ケーブルは、2台のコンピュータを接続して、Windows転送ツール ソフトウェアとともに使用するために特別に設計されたUSBケーブルです。(このケーブルは別売です。) 標準のUSBケーブルは使用できません。

ファイルおよび設定を転送するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[ツール]**をクリックします。
- 3 **[Windows転送ツール]**をクリックします。
- 4 Windows転送ツール ウィザードの画面の説明に沿って操作し、古いコンピュータから新しいコンピュータにファイルを転送します。

詳しく調べるには、タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタン→**[ヘルプとサポート]**の順にクリックし、**[Windowsヘルプとサポート]**のヘルプの検索ボックスに「ファイルの移動」と入力して**[Enter]**キーを押します。33ページの「**[Windowsヘルプとサポート]**の使用」を参照してください。



# コンピュータ固有の機能

## メモリ カード リーダの使用

(一部のモデルのみ)

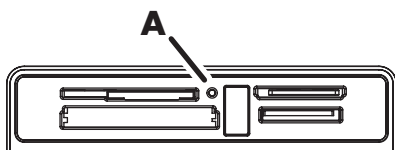
お使いのコンピュータによっては、マルチフォーマット対応のメモリ カード リーダ（一部のモデルのみ）が装備されている場合があります。デジタル カメラおよびその他のデジタル画像デバイスは、デジタル画像ファイルの保存にメモリ カードまたはメディアを使用します。メモリ カード リーダは、さまざまな種類のメモリ カードおよびIBM Microdriveに読み書きすることができます。

- カード リーダには、コンピュータ前面から直接アクセスできます。カード リーダには、メディアを収容する4個または2個の横向きのカード スロットがあります。
- 1つ以上のカード スロットにメディアを挿入し、各メディアを個別に使用することができます。各スロットには、一度に1つのメディアのみ取り付けられます。
- 各カード スロットには、固有のドライブ文字とアイコンがあります。メディアを挿入すると、表示される名前がメディアのタイトルに変わる可能性があります（タイトルが使用可能な場合）。
- メディアを挿入すると、[ハードウェアの安全な取り外し]ウィンドウが表示される可能性があります。このウィンドウが表示された場合、または、間違えてこのウィンドウを開いてしまった場合は、**[閉じる]**をクリックします。



**注意：**USB大容量記憶装置が選択された状態では、[ハードウェアの安全な取り外し]ウィンドウで**[停止]**をクリックしないでください。これを実行した場合、メモリ カード リーダがオペレーティング システムから認識されなくなり、メモリ カード リーダを再び表示するためにコンピュータを再起動する必要が生じます。

## メモリ カード リーダ (例)



動作ランプ (A) が点滅している場合は、コンピュータがメモリ カードにアクセスして読み取りまたは書き込みを行っていることを示します。

メモリ カード リーダを使用するには、以下の手順で操作します。

**1** メディアをカード スロットに完全に挿入します。

メモリ カード リーダの動作ランプ (A) が点灯し、コンピュータが自動的にメディアを検出します。

---

**注:** メディアを正しく挿入する必要があります。メディアの角が切れている方向に注意してください。詳しくは、[Windowsヘルプとサポート]を開くか、またはサポートWebサイトを参照してください (33ページの「詳細情報の参照」を参照)。また、以下の点にも注意してください。

- CompactFlash および Microdrive メディアは、誤った方向で挿入できない形になっています。このメディアの端子側をスロットに向けて挿入します。
- CF Ultra/III などの一部のメモリ カードは、コンピュータに付属のメモリ カード リーダに対応していません。
- メモリ カード リーダで SmartMedia と xD メディアを同時に使用しないでください。最初に挿入されたメディアだけがリーダーに認識されます。

**2** ファイルにアクセスするプログラムを選択します。メディアにファイルをコピーしたり、メディアからファイルをコピーしたりすることができます。

または

[自動再生]ウィンドウが開かない場合、タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックしてから、[メモリ カード]アイコンをダブルクリックし、メディア上のファイルを表示します。メディアにファイルをコピーしたり、メディアからファイルをコピーしたりすることができます。

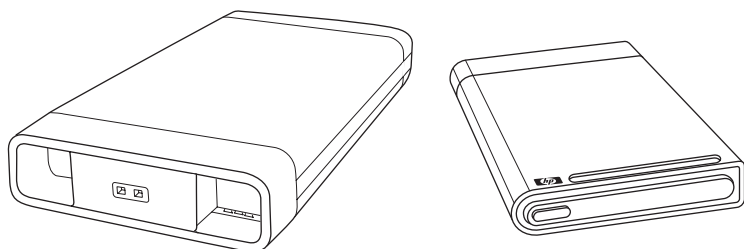
**3** 終了後、ドライブ アイコンを右クリックして[取り出し]をクリックし、メモリ カード リーダの動作ランプが点滅ではなく点灯または消灯していることを確認してから、メディアを取り出します。



**注意:** 動作ランプの点滅時にメディアを取り出さないでください。これを行うと、データが失われる可能性があります。

# HP Personal Media Driveおよび HPポケット・メディア・ドライブの使用

HP Personal Media DriveおよびHPポケット・メディア・ドライブ（HP Media Drive）は、内部または外部のUSBハードディスクドライブとして使用できます。これらは、迅速および容易にストレージ容量を増大し、デジタル写真、音楽、ビデオ、およびその他の重要なファイルを転送できるように設計されています。HP Media Driveを使用して、コンピュータのその他のドライブをバックアップすることもできます。



注：HP Personal Media DriveおよびHPポケット・メディア・ドライブは、一部のモデルにのみ付属しています。ドライブは2つとも別売です。

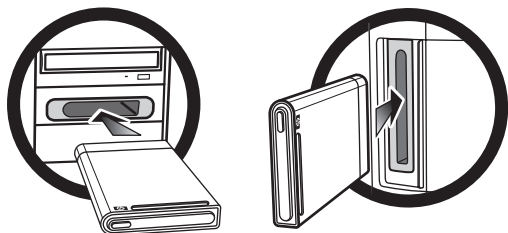
HP Media Driveは、以下のことができるように設計されています。

- USBポートがあるコンピュータと連携する。
- デジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、およびMP3プレーヤからの大きなメディアファイルや個人用のファイルを格納する。
- コンピュータ間で、迅速にファイルを転送する。
- メディアファイルを再生する。
- ファイルをバックアップする。システムのバックアップを実行し、データのセキュリティを向上します。

Windows Media CenterでのHP Media Driveの使用について詳しくは、HPサポートWebサイト <http://www.hp.com/support/>にある説明書を参照してください。

## ドライブの接続

HP Media Driveは、USBケーブルを使用して接続された外部ドライブとして、ほとんどのコンピュータと連携するように設計されており、さらに、特別に設計されたHPコンピュータに挿入することもできます。これらのコンピュータには、内部のUSBコネクタを使用してドライブに接続する、特別な水平または垂直なドライブベイが装備されています。ドライブは、コンピュータの電源を切らずに、容易にハードディスクドライブベイに挿入したり、そこから取り出したりできます。これは、ウォームスワップとも呼ばれます。



ドライブは、アクティブなUSBポートに差し込まれると、電源が入ります。ドライブを接続した状態でコンピュータの電源を入れると、自動的にドライブの電源が入ります。ドライブのUSBケーブルが差し込まれていないか、または、コンピュータからのUSB電源が入っていない場合、ドライブの電源は自動的に切れます。コンピュータがスリープモード（省電力状態）のときは、ドライブの電源は入ったままになっています。

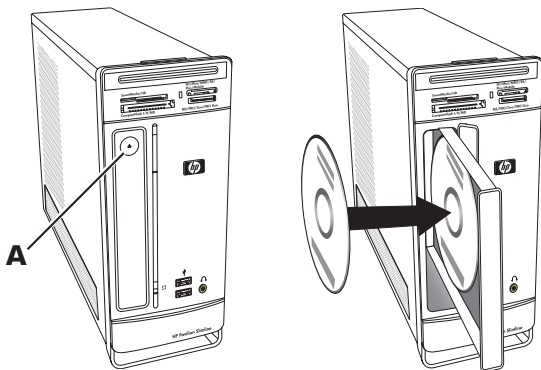


**警告：HP Media Driveをベイに挿入した状態、または、コンピュータのUSBポートに接続した状態でコンピュータを移動しないでください。ドライブに損傷を与えたり、データが失われたりする可能性があります。**

## 縦向きのCD/DVDドライブの使用

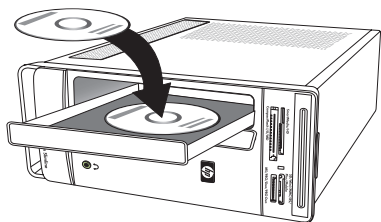
(一部のモデルのみ)

お使いのコンピュータによっては、オプティカルドライブが縦向きに取り付けられている場合があります。ドライブのドアの上または近くにある取り出しボタン（**A**）を押してCD/DVDトレイを開きます。標準サイズのディスクを、ラベル面を外側にしてトレイに置き、トレイの前面を押してトレイを閉じます。（ボタンの位置、形状はモデルによって異なります。）



縦向きのドライブで8 cmディスクを使用するには、ディスクを挿入する前に、コンピュータを右側面を下にして横向きに置く必要があります（一部のモデルのみ）。

- 1 コンピュータの前面を手前に向け、右側面を下にして置きます。
- 2 CD/DVDドライブの取り出しボタンを押してトレイを開きます。
- 3 8 cmディスクを、ラベル面を外側にしてトレイ内のくぼみに置き、トレイの前面を押してトレイを閉じます。





# LightScribeテクノロジーの使用

(一部のモデルのみ)

ここでは、LightScribeオプティカルドライブでLightScribeテクノロジーを使用してディスクラベルを作成する方法について説明します。LightScribeの使用方法について詳しくは、プログラム内の[ヘルプ]アイコン（右図参照）をクリックしてヘルプを参照してください。



## LightScribeとは

LightScribeは、特殊なディスクドライブ、特殊なメディア（書き込み可能なLightScribe CDまたはDVD）、およびラベル作成ソフトウェアを使用して、ディスクに直接ラベルを書き込むことのできる革新的なテクノロジーです。LightScribe対応のCDまたはDVDドライブでは、ドライブ内でレーザーを使用して、ディスクのラベル面の薄い塗料の層にラベルを書き込みます。インクがしみてきたり紙がめくれ上がったりすることも、接着剤がはがれることもありません。

## LightScribeの要件

LightScribeでラベルを書き込むには、以下の3つが必要です。

- LightScribe対応のオプティカルドライブ（一部のモデルのみ）。LightScribeのロゴが付いています。
- LightScribe対応のラベリングソフトウェア
- 書き込み可能なLightScribeディスク（別売）



## CyberLink LabelPrintによるLightScribeラベルの作成

ディスクへのデータ、音楽および動画の書き込みは、ラベルを書き込む前でも後でもかまいません。

LightScribeラベルを作成するには、以下の手順で操作します。

- 1 ディスクの上面を下にして、ドライブにディスクを載せます。ディスクの上面とは、反射面ではない金色の面の方です。データを書き込む面の裏側です。
- 2 ドライブを閉じます。
- 3 **Windows Vista**のスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[**CyberLink DVD Suite**]の順にクリックします。
- 4 ウィンドウの右下隅にあるディスク アイコンをクリックしてCyberLinkプログラムの一覧を開き、[**LabelPrint**]をクリックします。
- 5 [ステップ1：ラベルの種類を選択]で、以下のどちらかを選択します。
  - [盤面] (LightScribeラベル)または
  - [盤面 (8 cm)] (LightScribeラベル)
- 6 ウィンドウの一番下にある矢印ボタンをクリックして、次へ進みます。
- 7 [ステップ2：ラベルテキストの編集]で、ディスクラベルの詳細情報を入力します。
  - a ディスクのタイトル、作成者、および日付を入力します。
  - b 曲名およびその他のファイル情報を入力します。



または

[追加]アイコンをクリックしてMP3情報を読み込みます。



- 8 ウィンドウの一番下にある矢印ボタンをクリックして、次へ進みます。
- 9 **[ステップ3：レイアウトなどの編集]**で、以下の手順で操作します。
- a レイアウト スタイルの下の**[選択]**をクリックしてレイアウト スタイルを選択します。使用するスタイルを選択し、**[OK]**をクリックします。
  - b 背景画像の下の**[選択]**をクリックして背景画像を選択します。使用する画像を選択し、**[OK]**をクリックします。
  - c 紙製ラベルを作成する場合は、[用紙テンプレート：]のドロップダウン メニューを使用して用紙のサイズを選択します。
- 10 ウィンドウの一番下にある矢印ボタンをクリックして、次へ進みます。
- 11 LightScribeラベルを作成する準備ができたなら、**[印刷]**アイコンをクリックします。
- 12 **[OK]**をクリックして、LightScribeラベルを作成します。ラベルの作成に要する時間が、進捗バーとともに表示されます。LightScribeラベルの作成中も、コンピュータでの作業を続けることができます。



CyberLink LabelPrintの使用方法について詳しくは、**[ヘルプ]**アイコンをクリックしてヘルプを参照してください。



## リモコンの使用

(一部のモデルのみ)

---

注：リモコンには必ずアルカリ電池を使用してください。

---

リモコンを使用して、Windows Media Centerを開き、テレビ放送を見たり、テレビ番組の録画や再生を行ったり、音楽、映画、動画を再生したりできます。

Windows Media Centerを開くには、リモコンをコンピュータの前面にあるリモート コントロール センサに向けて、リモコンのWindows Media Centerの[スタート]ボタンを押します。



リモコンを使用するには、リモコンをリモート センサに向けて操作します。リモコンとセンサが8 m以上離れると、リモコン操作は機能しません。リモコンを向ける角度がリモート センサの中心から22.5°（合計45°）の範囲を超えると、リモコン操作は機能しません。

---

注：明るい光がセンサに直接当たっていると、リモコン操作の妨げになる場合があります。

---

# HP Easy Backup

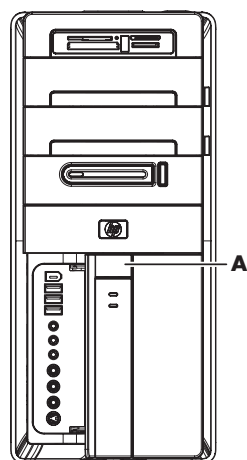
(一部のモデルのみ)

HP Easy Backupを使用すると、大切な写真、音楽、ファイルなどを簡単に保護できます。HP Easy Backupでファイルを初めてバックアップした後、自動バックアップのスケジュールを設定するか、または必要なときにコンピュータ前面のHP Easy Backupボタン (A) を使用してバックアップするように求められます。

HP Easy Backupボタンは、コンピュータの電源が完全にオンになっている場合にのみ機能します。システムがスタンバイ、ロック、スクリーンセーバによる保護、またはサスペンドモードになっているときは、バックアップを開始できません。

スケジュール設定した次の自動バックアップまでの間に手でバックアップを実行するには、以下の手順で操作します。

- 1 外部記憶装置をコンピュータに接続するか、空の CD または DVDをCD/DVDドライブに挿入します。
- 2 HP Easy Backupボタンを押します。画面の説明に沿って操作します。
- 3 CDまたはDVDを使用する場合は、バックアップメディアのラベルに分かりやすい名前を付けて、安全な場所に保管します。

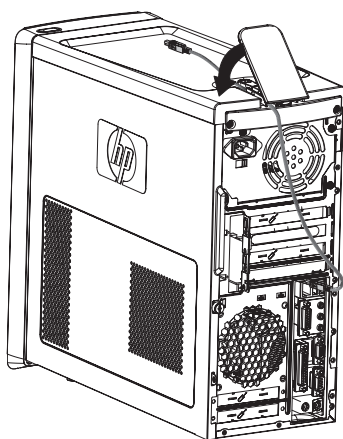


# ユニバーサルトレイとケーブル マネージメント

(一部のモデルのみ)

コンピュータの上面は、ユニバーサルトレイと呼ばれる、柔らかいゴム素材で覆われています。この面に周辺機器を置くと、傷が付いたり滑って動いたりすることがありません。ケーブル マネージメント (上面後部) は、外付けケーブルをまとめるために使用します。

- 1 デジタル カメラ、ポータブル ミュージック プレーヤとそのドッキング ステーション、小型プリンタなどの周辺機器を、コンピュータ上面のユニバーサルトレイに置きます。
- 2 ケーブル マネージメントのカバーを開きます。
- 3 周辺機器のケーブルを、ケーブル マネージメントに通します。これにより、コンピュータの背面に接続されたケーブルをまとめておくことができます。
- 4 ケーブル マネージメントのカバーを閉じます。



# ソフトウェアの使用

(一部のモデルのみ)

お使いのコンピュータには、以下を実行する多数のソフトウェアが付属しています。

- CDを録音し再生する。
- データCDを書き込みする。
- ビデオ ファイルをインポートおよび編集する。
- ビデオCDおよびDVDを録画する。
- デジタル メディア ファイルを整理する。

次の表で、各プログラムに固有の機能について説明します。この表を使用して、タスクを実行するために使用するプログラムを判断してください。



示されているプログラムの一部は、お使いのモデルに付属していない可能性があります。また、これは、付属するソフトウェアすべての完全な一覧ではありません。

---

注：コンピュータにソフトウェア アップデートCDが同梱されている場合があります。DVD書き込み/CD書き込みドライブを使用する前に、このCDからアップデート プログラムをインストールする必要がある可能性があります。これを行うには、CDに付属のインストール手順に沿って作業します。

---

これらのプログラムを開くには、タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタン→[すべてのプログラム]の順にクリックし、プログラム フォルダ（**[CyberLink DVD Suite]**など）を選択して、プログラム名をクリックします。

プログラム	機能
muvee Reveal (一部のモデルのみ) 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ 作成した動画に音楽、画像、タイトル、場面転換、キャプションなどを独自に追加する</li><li>■ ホーム ムービーを編集する</li><li>■ magicSpot機能を使用して、画像に適用したモーション効果を制御する</li></ul>
CyberLink DVD Suite (一部のモデルのみ) 	<ul style="list-style-type: none"><li>■ データおよび音楽ファイルを記録する</li><li>■ 既存の音楽 CD またはデータ CD のコピーを作成して、コンピュータで使用する</li><li>■ 手持ちのCDや.wav、.mp3、または.wmaファイルから、独自の音楽CDを作成する。これらのCDはホーム ステレオやカーステレオで再生できます</li><li>■ データ ファイルをコピーおよび共有する</li><li>■ コンピュータ上のファイルから保存用のCDやDVDを作成する</li><li>■ ディスクが問題なく作成されたことを確認する</li><li>■ 動画ファイルをVCDやDVDに記録する（一部のDVDプレーヤーで再生可能）</li><li>■ 動画ファイルをコピーおよび共有する</li><li>■ ビデオ ファイルを取り込む</li><li>■ ビデオ ファイルを編集する</li></ul>

## プログラム

## 機能（続き）

Microsoft Windows ムービー メーカー



- オーディオ、ビデオ、およびその他のメディア ファイルをビデオ テープ、オーディオ テープ、Webカメラ、またはテレビ放送からインポートする
  - オーディオおよびビデオ ファイルを記録し、ビデオ プロジェクト（Windows Mediaソース ファイル、拡張子.wmv）を作成する
  - ファイルを編集およびプレビュー表示する
  - 動画を電子メールで送信するか、Web サーバにアップロードする
  - 音楽ファイル（.mp3）を追加する
  - オーディオ ファイル（.mp3、.asf、.wmaなど）、ビデオ ファイル（.wmv、.asf、.avi、.mpgなど）、または画像ファイル（.jpg、.gifなど）をインポートする
  - .aviおよび.wmv（Windows Media Video）ファイルを作成する
-



# 詳細情報の参照

## [Windowsヘルプとサポート]の使用

(一部のモデルのみ)

お使いのコンピュータに関する情報は、画面上の[Windowsヘルプとサポート]で参照できます(一部のモデルのみ)。ここで、最新のドライバへのリンクや、サポート窓口のアクセス、一般的な質問に関する情報の検索が可能です。

[Windowsヘルプとサポート]を開くには、以下の手順で操作します。


- キーボードのヘルプ ボタン (疑問符マークが付いています) を押します (一部のモデルのみ)。

または

- タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタン→[ヘルプとサポート]の順にクリックします。

## サポートWebサイトへのアクセス

お使いのコンピュータに関する情報を検索するには、インターネットを使用して、『サポート ガイド』に記載されているサポートWebサイトのアドレスにアクセスするか、または以下の手順で操作します。

- 1 Webブラウザで<http://www.hp.com/support/>に移動します。
- 2 お住まいの国または地域、および言語を選択します。
- 3 [サポート & 問題解決情報を表示する]にチェックを入れます。
- 4 お使いのコンピュータのモデル番号を入力して、[検索開始]  をクリックします。表示する項目をクリックします。

## Webでの製品マニュアルの検索

インターネットを使用してサポートWebサイトにアクセスし、お使いのコンピュータの製品マニュアルを検索できます。

- 1 前の作業の手順に沿って、サポートWebサイトに移動し、モデル番号を検索します。
- 2 **[製品マニュアル]**をクリックします。
- 3 希望するマニュアルを見つけて、次のどちらかを行います。
  - タイトルをクリックして、Adobe Readerでファイルを表示します(お使いのコンピュータにインストールされていない場合は、[マニュアルライブラリ]ページからダウンロード可能です)。または
  - タイトルを右クリックして**[対象をファイルに保存]**をクリックし、ファイルを保存する場所を指定し、ファイルの名前を指定して(.pdfの拡張子はそのまま) **[保存]**をクリックします。

## 画面での製品マニュアルの表示

(一部のモデルのみ)

[ユーザガイド]フォルダから、お使いのコンピュータの製品マニュアルを表示できます(一部のモデルのみ)。

- 1 タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[すべてのプログラム]**をクリックします。
- 3 **[ユーザガイド]**をクリックします。  
表示または使用する項目をクリックします。

---

注：フォルダにマニュアルのタイトルがない場合、お使いのコンピュータは製品マニュアルがインストールされていないモデルです。

---

## [PCヘルプとツール]フォルダの使用

[PCヘルプとツール]フォルダには、サポート情報やプログラムなど、コンピュータの使用に役立つものが含まれています。

[PCヘルプとツール]フォルダを参照するには、以下の手順で操作します。

- 1 タスクバーにある**Windows Vista**のスタート ボタンをクリックします。
- 2 **[すべてのプログラム]**をクリックします。
- 3 **[PCヘルプとツール]**をクリックします。
- 4 **[ハードウェア診断ツール]**をクリックして、ツールを表示または使用します。



## ハードウェア診断ツールの使用

ハードウェア診断ツールを使用して、以下のことが行えます。

- メモリの使用率、ドライブの容量、CPU の使用率など、コンピュータのシステム情報を表示する。
- コンピュータの警告を確認する。
- コンピュータ ハードウェアおよび一部の周辺機器（プリンタ、モニタ、スピーカ、ネットワーク アダプタなど）の情報を表示し、診断テストを行う。
- コンピュータ システム テストを行う。

## 安全で快適なコンピュータの利用



警告：操作する人の健康を損なわないようにするため、『快適に使用していただくために』をお読みください。正しい作業環境の整え方や、作業をする際の正しい姿勢、および健康上/作業場の習慣について説明しています。また、重要な電氣的/物理的安全基準についての情報も提供しています。

コンピュータを使い始める前に、作業を快適に効率よく行えるようにコンピュータおよび作業環境を整えてください。重要な人間工学的情報については、『快適に使用していただくために』を参照してください。

- タスクバーにある **Windows Vista** のスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[ユーザガイド]→[快適に使用していただくために]の順に選択します。

または

- Webブラウザのアドレス ボックスに、  
**<http://www.hp.com/ergo/>**  
と入力し、キーボードの[Enter]キーを押して、表示される画面で[日本語]を選択します。



# トラブルシューティングおよびメンテナンス

このセクションの内容は以下のとおりです。

- **トラブルシューティングの一覧**：37ページの「コンピュータに関するトラブルの解決方法」
- **ソフトウェアの修復に関する情報**：56ページの「ソフトウェアの問題の修復」
- **メンテナンスに関する情報およびガイドライン**：59ページの「メンテナンス」

詳しくは、[Windowsヘルプとサポート]を参照するか、またはサポートWebサイトにアクセスしてください（33ページの「詳細情報の参照」を参照）。

モニタやプリンタなどの周辺機器に固有の問題については、製品の製造販売元が提供する説明書を参照してください。

## コンピュータに関するトラブルの解決方法

以下の一覧に、コンピュータの設置、起動、または使用時に発生する可能性があるトラブルを示します。各一覧には、ユーザが試すことができる解決方法も記載されています。

トラブルシューティングの一覧は、以下の順に記載されています。

- 38ページの「コンピュータが起動しない」
- 39ページの「電源」
- 40ページの「ディスプレイ（モニタ）」
- 42ページの「キーボードおよびマウス（有線）」
- 43ページの「無線キーボードおよびマウス」
- 46ページの「オーディオおよびスピーカ」
- 48ページの「インターネット アクセス」
- 49ページの「CDプレーヤおよびDVDプレーヤ」
- 51ページの「ビデオ」
- 52ページの「ハードウェアの取り付け」
- 54ページの「パフォーマンス」
- 54ページの「無線デバイス」
- 55ページの「リモコン」
- 55ページの「メモリ カード リーダ」

## コンピュータが起動しない

トラブル	解決方法
コンピュータの電源が入らない、または起動しない	<p>コンピュータを外部電源に接続しているケーブルが、正しく差し込まれていることを確認します</p> <p>コンピュータを外部電源に接続しているケーブルが正しく差し込まれていて、電源コンセントが機能している場合、コンピュータ背面にある電源装置のランプが緑色に点灯します。ランプが点灯しない場合は、『サポート ガイド』を参照してサポート窓口にお問い合わせください</p> <hr/> <p>ディスプレイ（モニタ）に何も表示されない場合は、モニタが正しく接続されていない可能性があります。モニタ コネクタをコンピュータに接続してしっかりと差し込み、電源を入れます。40ページの「ディスプレイ（モニタ）」を参照してください</p> <hr/> <p>線間電圧の選択スイッチを、お住まいの国/地域に合わせて適切に設定します。または、『サポート ガイド』を参照してサポート窓口にお問い合わせください</p> <hr/> <p>電源コンセントに別の電気装置を接続して、コンセントが正しく機能しているかテストします</p> <hr/> <p>対応していないメモリ（RAM）が取り付けられている可能性があります。古いメモリに交換することで、コンピュータを元の状態に戻します。手順については、『アップグレード ガイド』を参照してください</p>
コンピュータがロックされ応答していないように見える	<p>Windowsの[タスク マネージャ]で応答していないすべてのプログラムを閉じるか、またはコンピュータを再起動します</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します</li><li>2 <b>[タスク マネージャの起動]</b>をクリックします</li><li>3 応答していないプログラムを選択して<b>[タスクの終了]</b>をクリックします</li></ol> <p>プログラムを終了しても解決しない場合は、以下の手順でコンピュータを再起動します</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 キーボードの、[Ctrl]、[Alt]、および[Delete]キーを同時に押します</li><li>2 シャットダウン ボタンの隣の矢印→<b>[再起動]</b>の順にクリックします</li></ol> <p>または</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 電源ボタンを5秒以上押したままにして、コンピュータの電源を切ります</li><li>2 電源ボタンを押してコンピュータを起動します</li></ol>

## コンピュータが起動しない（続き）

トラブル	解決方法
ハードドライブのエラーメッセージが表示される	『サポート ガイド』を参照してサポート窓口にお問い合わせください

## 電源

トラブル	解決方法
無効なシステム ディスク、非システム ディスク、またはディスクエラーに関するメッセージが表示される	ドライブの動作が停止したら、ディスクを取り出し、キーボードのスペース キーを押します。これで、コンピュータが起動します
電源ボタンを押してもコンピュータの電源が切れない	コンピュータの電源が切れるまで、電源ボタンを押したままにします 電源設定を確認します
コンピュータが自動的にシャットダウンする	コンピュータが過熱している可能性があります。室温と同じくらいになるまでコンピュータを冷却します コンピュータの通気が遮られておらず、内部ファンが動作していることを確認します。コンピュータによっては、内部ファンがない場合もあります

## ディスプレイ（モニタ）

トラブル	解決方法（ここに示されている情報の他に、お使いのモニタに付属の説明書も参照してください）
画面に何も表示されず、モニタの電源ランプが点灯しない	モニタ背面にある電源プラグと電源コンセントを接続しなおします <hr/> モニタの前面にある電源ボタンを押します
画面に何も表示されない	キーボードのスペース キーを押すか、マウスを動かして、画面が再度表示されるようにします <hr/> スリープ ボタン（一部のモデルのみ）またはキーボードの [Esc] キーを押して、スリープ モードから復帰します <hr/> 電源ボタンを押し、コンピュータの電源を入れます <hr/> モニタのビデオ コネクタに曲がっているピンがないかどうかをチェックします <ul style="list-style-type: none"><li>■ 曲がっているピンがある場合は、モニタ コネクタ ケーブルを交換します</li><li>■ 曲がっているピンがない場合は、モニタ コネクタ ケーブルをコンピュータに接続しなおします</li></ul>

## ディスプレイ（モニタ）（続き）


**トラブル** 解決方法（ここに示されている情報の他に、お使いのモニタに付属の説明書も参照してください）

HDMI接続ディスプレイの音が出ない

グラフィックスカードのHDMIコネクタ（一部のモデルのみ）を使用してディスプレイ（モニタ）をコンピュータに接続している場合は、初期設定がDVIコネクタになっているため、ディスプレイからサウンドは聴こえません。コンピュータの初回セットアップ時にサウンドを聴くには、アナログスピーカーをコンピュータのオーディオライン出力コネクタに接続する必要があります

設定を変更して、HDMI接続ディスプレイからサウンドを聴くには、以下の手順で操作します

注：[リカバリ マネージャ]を使用してコンピュータのオペレーティングシステムを回復する必要がある場合は、この手順を繰り返して、HDMIコネクタのサウンドを有効にする必要があります

- 1 タスクバーにあるMicrosoftの[音量]アイコン（白いスピーカー）を右クリックして、[再生デバイス]をクリックします。[サウンド]ウィンドウが開きます 
- 2 [再生]タブで、[デジタル出力デバイス (HDMI)]が表示されている場合は、これをクリックします。表示されていない場合は、[Realtek HDMI Output]をクリックします
- 3 [既定値に設定]をクリックします
- 4 [適用]をクリックします
  - [デジタル出力デバイス (HDMI)]を選択した場合は、[OK]をクリックしてウィンドウを閉じます。このオプションでHDMIサウンドを有効にする手順は、これで完了です
  - [Realtek HDMI Output]を選択した場合は、手順5に進みます
- 5 [Realtek HDMI Output]をダブルクリックします。[Realtek Digital Outputのプロパティ]ウィンドウが開きます
- 6 [サポートされている形式]タブをクリックします
- 7 [48.0 KHz]チェック ボックスにチェックを入れ、[Dolby Digital]チェック ボックスおよびその他すべてのチェック ボックスにチェックが入っていないことを確認します  
注：オーディオを再生するほとんどのテレビでは、サンプルレートを48.0 KHzにする必要があります
- 8 [OK] をクリックしてウィンドウを閉じます。このオプションでHDMIサウンドを有効にする手順は、これで完了です

## ディスプレイ（モニタ）（続き）

トラブル	解決方法（ここに示されている情報の他に、お使いのモニタに付属の説明書も参照してください）
------	--

画面上の画像が大きすぎる/小さすぎる、またはぼやけている

Windows Vistaでモニタの解像度設定を調整します

- 1 デスクトップの空いている領域を右クリックして、[個人設定]をクリックします
- 2 [画面の設定]をクリックします
- 3 [解像度]のスライダを必要に応じて調整し、[適用]をクリックします

## キーボードおよびマウス（有線）

トラブル	解決方法
------	------

キーボードのコマンドおよび入力操作がコンピュータに認識されない

マウスを使用してコンピュータの電源を切り、キーボードのケーブルをコンピュータの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます

有線マウスが動作しない、または検出されない

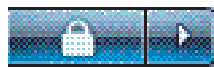
マウス ケーブルをコンピュータから抜き、接続しなおします

それでもマウスが検出されない場合は、コンピュータの電源を切り、マウス ケーブルを抜き、接続しなおしてから、コンピュータを起動しなおします

カーソルがマウスの動きに反応しない

キーボードを使用してコンピュータを再起動します

- 1 キーボードの[Alt]および[Tab]キーを同時に押し、開いているプログラムに移動します
- 2 キーボードの[Ctrl]および[S]キーを同時に押し、表示されているプログラムで行った変更を保存します（ほとんど（すべてではありません）のプログラムで、[Ctrl]+[S]は、保存を行うためのキーボード ショートカットです）
- 3 開いているすべてのプログラムで、手順1～2を繰り返して変更を保存します
- 4 開いているすべてのプログラムで変更を保存したら、キーボードの[Ctrl]および[Esc]キーを同時に押して、Windowsの[スタート]メニューを表示します
- 5 矢印キーを使用してロック ボタンの隣の矢印ボタンを選択します。  
[シャット ダウン]を選択してキーボードの[Enter]キーを押します
- 6 シャットダウンが完了したら、マウス コネクタをコンピュータの背面から抜き、接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます





## キーボードおよびマウス（有線）（続き）

トラブル	解決方法
カーソルの反応が遅い、垂直方向または水平方向にしか移動しない、または滑らかに移動しない	<ul style="list-style-type: none"><li>■ オプティカル マウスをクリーニングします。マウス底面の光センサのレンズを、毛羽立たない柔らかい布で軽く拭きま す（紙は使わないでください）</li><li>■ マウス パッド、白い紙、または反射の少ない面の上でマウスを使用します</li></ul>
テンキーの矢印キーを使用してカーソルを移動できない	キーボードの[Num Lock]キーを押してNum Lockランプを消灯させます。テンキーの矢印キーを使用する場合は、Num Lockランプが消えている状態にします

## 無線キーボードおよびマウス

トラブル	解決方法
無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない	<p><b>A 以下のことを確認します</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>■ 無線キーボードまたは無線マウスをレシーバの受信範囲内で使用していることを確認します。受信範囲は、通常の使用時は約10 m、初回セットアップ時または再同期時は30 cm以内です</li><li>■ キーボードおよびマウスの電池を交換します。充電式電池は使用しないでください。デバイスを裏返し、マウスの電源をオフにしてから、バッテリー カバーを取り外して古い電池を取り出し、新しいアルカリ電池を挿入して、マウスの電源をオンにします</li><li>■ マウスがサスペンド モードに入っていないことを確認します。サスペンド モードは、20分間操作が行われないと実行されず、マウスを再度有効にするには、マウスの左ボタンをクリックします</li></ul>

## 無線キーボードおよびマウス（続き）

### トラブル

### 解決方法

無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない  
(続き)

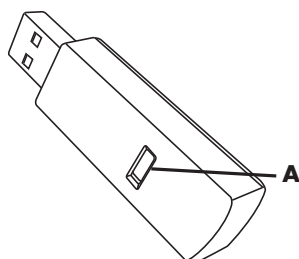
#### B キーボードおよびマウスとレシーバとを再同期します

以下の図に示されているレシーバ、無線キーボード、および無線マウスは一例であり、お使いのモデルによって異なる場合があります

**重要:**以下の手順では、無線キーボードおよび無線マウスは、レシーバと同じ高さで、レシーバから30 cm以内で、他のデバイスから干渉を受けない位置に配置します

1 コンピュータのUSBコネクタからレシーバを抜いて、接続しなおします。コンピュータ モデルによっては、レシーバ専用のコネクタがある場合があります。可能な場合は、コンピュータ前面のUSBコネクタを使用します

2 レシーバにランプまたは Connect (接続) ボタン (ランプとしても機能します) がある場合があります。レシーバに Connect ボタン (A) がない場合は、この手順は省略します



ランプが点滅し始めるまで、レシーバの Connect ボタン (A、ランプとしても機能します) を5~10秒程度押し続けます

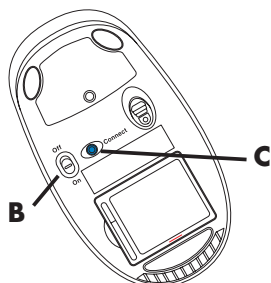
## 無線キーボードおよびマウス（続き）

### トラブル

### 解決方法

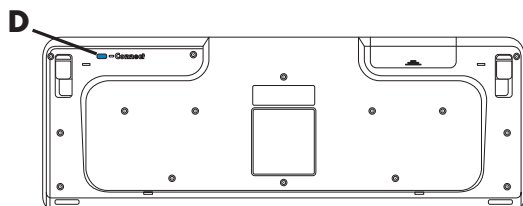
無線キーボードやマウスが動作しない、または検出されない  
(続き)

- マウスの底面で、電源スイッチ (B) がOnになっていることを確認し、Connectボタン (C) を、レシーバのランプ (A) が点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5~10秒程度押したままにします



注:レシーバの接続セッションは60秒でタイムアウトします。接続が確立されており、レシーバがタイムアウトしていないことを確認するには、マウスを動かして画面上での反応を見ます

- マウスの接続が確立された後、キーボードの接続も確立する場合は、以下の手順に進みます
- お使いのレシーバにConnectボタン (A) がない場合は、この手順は省略します  
レシーバのConnectボタン (A) を、ランプが点滅し始めるまで5~10秒程度押したままにします
- キーボードの裏面のConnectボタン (D) を、レシーバのランプ (A) が点灯するまで、または点滅しなくなるまで、5~10秒程度押したままにします



詳しくは、キーボードおよびマウスに付属の説明書を参照してください

## オーディオおよびスピーカ

トラブル	解決方法
音が出ない	<p>グラフィックス カードのHDMIコネクタ（一部のモデルのみ）を使用してディスプレイ（モニタ）をコンピュータに接続する場合、コンピュータの初回セットアップ時にサウンドを聴くには、アナログ スピーカもコンピュータのオーディオ ライン出力コネクタに接続する必要があります</p> <p>アナログ スピーカの接続方法については、『クイック セットアップ』を参照してください</p> <p>設定を変更して、HDMI接続ディスプレイからサウンドを聴く方法については、41ページの「HDMI接続ディスプレイの音が出ない」を参照してください</p> <hr/> <p>キーボードのミュート ボタンを押して、ミュート（消音）機能が有効になっているかどうかを確認します</p> <p>または</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 <b>Windows Vista</b>のスタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします</li><li>2 [ハードウェアとサウンド]→[システム音量の調整]の順にクリックします</li><li>3 プログラムが消音されている場合は、[ミュート]ボタンをクリックして音量を元に戻します</li></ol> <hr/> <p>モニタの内蔵スピーカを使用している場合は、モニタのフロントパネルの音量ボタンを使用して音量を調節します。フロント パネルのボタンを使用してオンスクリーン ディスプレイ (OSD) メニューを表示し、オーディオが有効になっていることと、音量が適切に設定されていることを確認します</p> <hr/> <p>音量を上げるには、タスクバーの[音量]アイコンをクリックするか、またはキーボードのボタン類を使用します。ソフトウェア プログラムで音量設定を確認します</p> <hr/> <p>電源付き（アクティブ）スピーカが接続されていて、その電源がオンになっていることを確認します</p> <hr/> <p>コンピュータの電源を切り、スピーカのケーブルを抜いて、接続しなおします。スピーカがライン入力コネクタやヘッドフォン コネクタではなく、オーディオ コネクタに接続されていることを確認します</p> <hr/> <p>スリープ モードから復帰させるには、スリープ ボタン（一部のモデルのみ）を押すか、またはキーボードの[Esc]キーを押します</p> <hr/> <p>ヘッドフォンがコンピュータ（またはスピーカ システム）に接続されている場合は、取り外します</p>

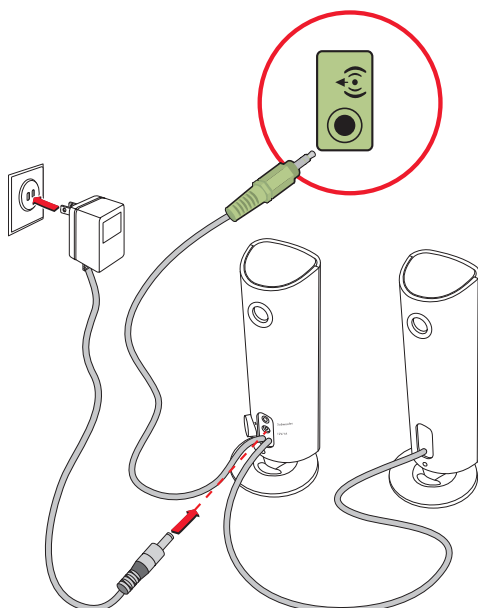
## オーディオおよびスピーカ（続き）

### トラブル

### 解決方法

音量が異常に小さい、または十分でない

スピーカがコンピュータ背面のライン出力コネクタ（黄緑色）に接続されていることを確認します。（マルチチャンネル スピーカの場合は、追加のオーディオ コネクタが使用されています。）電源供給機能のないスピーカ（電池や専用の電源コードなど専用の電源がないスピーカ）を使用すると十分な音量が出ません。電源供給機能のないスピーカを、電源供給機能付きのスピーカに交換します



## インターネット アクセス

### トラブル

### 解決方法

インターネットに接続できない

ご利用のISPにお問い合わせください

ご利用のインターネット接続の種類に適したケーブルを使用していることを確認します。お使いのコンピュータには、イーサネット ネットワーク アダプタ（ネットワーク インタフェース カード または NIC（LAN ボード）とも呼ばれる）が搭載されている場合があります。NICはネットワーク ケーブルを使用してローカル エリア ネットワーク（LAN）に接続されます。電話回線をNICに接続しないでください。また、ネットワーク ケーブルを電話線に接続しないでください。接続すると、NICが破損する可能性があります

インターネットへの接続について詳しくは、[Windowsヘルプとサポート]を参照してください（33ページの「[Windowsヘルプとサポート]の使用」を参照）

無線ネットワークの接続ウィザードを実行します

- 1 **Windows Vista**のスタート ボタン→[ネットワーク]の順にクリックします
- 2 [ネットワーク]ウィンドウで[ネットワークと共有センター]をクリックします
- 3 [ネットワークと共有センター]ウィンドウで、[接続またはネットワークのセットアップ]をクリックしてウィザードを開きます
- 4 画面の説明に沿って操作します

お使いのシステムにアンテナが外付けされている場合は、アンテナを動かしてみます。アンテナが内蔵されている場合は、コンピュータ本体を動かしてみます

後でもう一度接続してみるか、またはご利用のISPに問い合わせます

インターネット プログラムが自動的に起動しない

ご利用のISPにログインしてから、必要なプログラムを起動してみます

## CDプレーヤーおよびDVDプレーヤー

トラブル	解決方法
CDドライブまたはDVDドライブがディスクを読み込まない、または起動に時間がかかる	<p>ディスクが、ラベルの面を上にしてトレイの中心に置かれていることを確認します</p> <p>ドライブがメディアの種類を判断するまで、少なくとも30秒待ちます</p> <p>ディスク クリーニング キットを使用してディスクをクリーニングします。このキットは、一般のコンピュータ製品販売店で入手できます</p> <p>ドライブが破損しているか、古くなっている可能性があります。ドライブの復元または更新について詳しくは、56ページの「ドライブの更新」を参照してください</p>
CDまたはDVDを取り出せない	<p>コンピュータの電源を入れ、ドライブの近くにある取り出しボタンを押して、トレイを開きます</p> <p>取り出しボタンそのものに問題がある可能性がある場合は、以下の手順で操作します</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 <b>Windows Vista</b>のスタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします</li><li>2 開きたいCDドライブまたはDVDドライブを右クリックします</li><li>3 メニューから<b>[取り出し]</b>を選択します</li></ol>
8 cmディスクがコンピュータ内で下に落ちる	<p>ディスクを縦向きに挿入するプレーヤーでは、標準以外のディスクを再生できません</p> <p>トレイが縦向きに取り付けられているCD/DVDドライブでは、標準サイズのディスクを、ラベル面を外側にして、ドライブのトレイに垂直に収めます。縦向きドライブのトレイで8 cmディスクを使用するには、ディスクを挿入する前に、コンピュータを右側面を下にして横向きに置く必要があります（一部のモデルのみ）</p> <p>26ページの「縦向きのCD/DVDドライブの使用」を参照してください</p>

## CDプレーヤーおよびDVDプレーヤー（続き）

トラブル	解決方法
ディスクを作成（記録）できない	<p>ディスクが、ラベルの面を上にしてトレイの中心に置かれていることを確認します</p> <hr/> <p>ドライブに対応した種類のディスク（メディア）を使用していることを確認します。別の製造販売元のディスクを試してみます</p> <hr/> <p>清潔で、破損していないディスクを使用します。書き込みセッション中に書き込みが停止した場合、ディスクが破損している可能性があります。別のディスクを使用してください</p> <hr/> <p>書き込むファイルの種類に対応しているディスクを使用します</p> <hr/> <p>CD-Rディスクを使用する時は、音楽を書き込む場合はディスクが空であること、またデータを書き込む場合は、ディスクが空または付加可能（データ ファイルを追加する領域がある）であることを確認します</p> <hr/> <p>ディスクのコピーを作成する場合は、適切な種類のディスクを使用していることを確認します。書き込みプログラムによっては、ソースと同じ種類のディスクにしか書き込めない場合があります。たとえば、DVDを書き込めるのはDVD+R/-RディスクまたはDVD+RW/-RWディスクのみ、CDを書き込めるのはCD-RディスクまたはCD-RWディスクのみです</p> <hr/> <p>ディスクを適切なドライブに挿入し、CDまたはDVD書き込みソフトウェアで同じドライブが指定されていることを確認します</p> <hr/> <p>可能な場合は、書き込みを実行するドライブの書き込み速度を低く設定します</p> <hr/> <p>トラックのサイズがディスクの使用可能領域より大きい場合、書き込みソフトウェアを使用してトラックを追加できない場合があります。ファイルをディスクに書き込む前に、リストから1つまたは複数のトラックを削除して、領域を確保することができます</p> <hr/> <p>書き込みを開始する前に、すべてのソフトウェア プログラムおよびウィンドウを閉じます</p> <hr/> <p>ハードドライブ上に、コンテンツの一時コピーを格納するための十分な領域があることを確認します</p> <p><b>Windows Vista</b>のスタート ボタン→[コンピュータ]の順にクリックします。ハードドライブを右クリックし、[プロパティ]を選択して使用可能な領域を表示します</p>



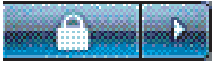
## CDプレーヤーおよびDVDプレーヤー（続き）

トラブル	解決方法
ディスクを作成（記録）できない （続き）	ネットワーク上で作業している場合は、まずネットワークからハードドライブにファイルをコピーして、その後でディスクに書き込みます  すべてのプログラムおよびウィンドウを閉じ、コンピュータを再起動します
家庭用のDVDプレーヤーでDVDの動画を再生できない	データ ファイルとしてDVDに書き込まれたビデオ ファイルは、DVDプレーヤーでは再生できません。映像を適切に再生できるようにするには、ビデオ書き込みプログラムを使用します。ビデオファイルによっては、コンピュータで再生できても、家庭用のDVDビデオ プレーヤーでは再生できない場合があります

## ビデオ

トラブル	解決方法
再生されないビデオファイルがある	ファイルが破損しているか、形式がサポートされていない可能性があります。ファイルをビデオ エディタで開いてから、サポートされている形式でファイルを保存しなおします
特定のビデオ ファイルを再生しようとする、コーデックに関するエラーメッセージが表示される	Windows Media Playerでファイルを開きます。Windows Media Playerがコーデックを自動的にダウンロードするように設定されていることを確認します <ul style="list-style-type: none"><li>■ 適切なコーデックを入手できる場合は、ファイルが再生されます。コーデック ファイルをダウンロードするには、インターネットに接続している必要があります</li><li>■ 適切なコーデックを入手できない場合は、Windows Media Playerの更新が利用可能かどうかを確認します</li></ul> 詳しくは、Windows Media Playerのヘルプを開き、「コーデック」を検索してください
[ビデオの再生に必要なファイルが見つからないか、壊れています]というエラーメッセージが表示される	<ol style="list-style-type: none"><li>1 <b>Windows Vista</b>のスタート ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選択します</li><li>2 [タスク]で[デバイス マネージャ]をクリックします</li><li>3 [サウンド、ビデオ、およびゲーム コントローラ]の隣のプラス記号 (+) をクリックします</li><li>4 <b>TVチューナ</b>の項目（一部のモデルのみ）を右クリックし、[ドライバ ソフトウェアの更新]をクリックします</li><li>5 [自動的に更新されたドライバ ソフトウェアを検索します]を選択します</li><li>6 説明に沿って操作して、ドライバを更新します</li><li>7 要求された場合は、コンピュータを再起動します</li></ol>

## ハードウェアの取り付け

トラブル	解決方法
新しいデバイスが、システムの一部として認識されない	<p>デバイスに付属のCDからデバイス ドライバをインストールするか、デバイスの製造販売元のWebサイトからドライバをダウンロードおよびインストールします</p> <p>Windows Vista用に更新されたドライバが必要な場合があります。更新についてはデバイスの製造販売元に直接お問い合わせください</p> <p>HPの周辺機器については、HPのWebサイトをご覧ください。詳しくは、33ページの「詳細情報の参照」を参照してください</p> <hr/> <p>すべてのケーブルがしっかりと適切に接続されており、ケーブルのピンが曲がっていないことを確認します</p> <hr/> <p>コンピュータの電源を切り、外付けデバイスの電源を入れてからコンピュータの電源を入れることで、デバイスをコンピュータに認識させます</p> <hr/> <p>コンピュータを再起動し、説明に沿って操作してデバイスを認識させます</p> <hr/> <p>オペレーティング システムで新しいデバイスの自動設定を無効にし、リソースの競合を引き起こさない基本的な構成を選択します</p> <p>デバイスを再構成するか、または無効にしてリソースの競合を解決することもできます</p>
新しいデバイスが動作しない	<p>デバイス ドライバをインストールまたはアンインストールするには、管理者権限のあるアカウントでログインする必要があります。ユーザを切り替える必要がある場合は、<b>Windows Vista</b>のスタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン→<b>[ユーザの切り替え]</b>の順にクリックします。管理者権限を持つユーザを選択します</p> 

## ハードウェアの取り付け（続き）

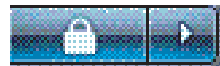
### トラブル

### 解決方法

新しいデバイスを取り付けたら、デバイスが動作しなくなった

デバイスの競合を解消するには、デバイスのどれかを無効にするか、または古いデバイスドライバをアンインストールする必要があることがあります

- 1 **Windows Vista**のスタート ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選択します
- 2 [タスク]で[デバイス マネージャ]をクリックします
- 3 トラブルが発生しているデバイスの隣のプラス記号(+)をクリックし、デバイスのアイコンの近くに黄色い円で囲まれた感嘆符があるかどうかを確認します。感嘆符は、デバイスの競合が発生しているか、またはデバイスで問題が発生していることを示します。感嘆符は、デバイスが正常に動作していない時でも、表示されない場合があります
- 4 ハードウェア デバイスを取り外してあるのに、そのデバイスドライバが[デバイス マネージャ]に表示されている場合、これがデバイスの競合の原因となっている可能性があります。古いドライバをアンインストールして、新しいデバイスドライバを正常に動作させるには、デバイスを右クリックして[アンインストール]→[OK]の順にクリックします
- 5 デバイスの名前をダブルクリックして[プロパティ]を選択します
- 6 [リソース]タブをクリックし、デバイスの競合があることを確認します
- 7 [全般]タブをクリックし、デバイスが有効で正常に動作しているかどうかを確認します。[トラブルシューティング]ボタンが表示されている場合はクリックし、[device troubleshooter wizard]（デバイスのトラブルシューティングウィザード）で画面の説明に沿って操作します
- 8 コンピュータを再起動します。**Windows Vista**のスタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン→[再起動]の順にクリックします



## パフォーマンス

トラブル	解決方法
コンピュータに表示されるプロセッサ速度が低い	実行中のアプリケーションが最高の処理能力を必要としていないため、プロセッサが自動的に低い速度で実行される場合に発生します
ソフトウェア プログラムおよびファイルの起動や反応に予想以上の時間がかかる	コンピュータに複数のユーザ アカウントを作成してある場合は、他のユーザがログインしていないことを確認します。一度に複数のユーザがログインしている場合、システムのリソースがユーザ間で共有されます その他の作業について詳しくは、60ページの「パフォーマンスを高めるためのメンテナンス作業」を参照してください

## 無線デバイス

トラブル	解決方法
Bluetooth デバイスが機能しない	デバイスとコンピュータの距離が近すぎたり遠すぎたりせず、適切であることを確認します。適切な距離については、デバイスの説明書を参照してください デバイスを取り外してから取り付けなおします <ol style="list-style-type: none"><li><b>Windows Vista</b>のスタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします</li><li>[ハードウェアとサウンド]→[Bluetooth デバイス]の順にクリックします</li><li>機能していないデバイスを選択して[削除]をクリックします</li><li>[追加]をクリックしてデバイスのリセット ボタンを押し、[セットアップを完了し、デバイスは発見可能になりました]チェック ボックスにチェックを入れて[次へ]をクリックします</li><li>画面の説明に沿って操作します</li></ol> デバイスの接続が多すぎる可能性があります。デバイスの処理量が少なくなるまで待つか、他のデバイスが検出されないように設定します。検出機能を無効にする方法については、デバイスの説明書を参照してください 無線通信を行うその他のデバイス（電子レンジ、コードレス電話、802.11 無線ネットワークなど）が干渉していないことを確認します。機能しないデバイスを他のデバイスから遠ざけてみます

## リモコン

トラブル	解決方法
リモート センサが、リモート コントロールからの信号を受信しない(一部のモデルのみ)	<ul style="list-style-type: none"><li>■ リモコンをセンサに向けて操作していることを確認します</li><li>■ リモコンに新しい電池が入っていることを確認します</li><li>■ USBコネクタを持つ外部センサの場合は、以下の手順に沿って赤外線接続を有効にしてみます</li></ul> <ol style="list-style-type: none"><li>1 <b>Windows Vista</b>のスタート ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選択します</li><li>2 [タスク]で[デバイス マネージャ]をクリックします</li><li>3 [ユニバーサル シリアル バス コントローラ]の隣のプラス記号(+) をクリックします</li><li>4 [ユニバーサル シリアル バス コントローラ]の下に[eHome 赤外線レシーバ]と表示されている場合、赤外線レシーバはWindows Vistaに正しく検出されています。表示されていない場合は、次の手順に進みます</li><li>5 コンピュータに接続されているリモート センサのUSBケーブルを取り外し、同じUSBコネクタに接続しなおします</li><li>6 リモート センサ以外のすべてのUSBデバイスを取り外して、コンピュータを再起動します。[デバイス マネージャ]ウィンドウにリモート センサが表示されてから、その他のUSBデバイスを接続します</li></ol>

## メモリ カード リーダ

トラブル	解決方法
メモリ カード リーダ(一部のモデルのみ)が、メモリ カードを読み込めない	<p>使用中(動作中)であることを示すランプが点滅している時は、メモリ カードの挿入または取り出しは行わないでください。これを行うと、データが消失したり、カード リーダが損傷して修復できなくなったりする場合があります</p> <p>メモリ カードによっては、読み取り/書き込みスイッチまたはセキュリティスイッチが付いています。データをカードに書き込む前に、カードのスイッチが書き込み可能に設定されていることを確認します</p> <p>保管されたデータ量が、メモリ カードの記憶可能領域を超えていないことを確認します</p>

## メモリ カード リーダ（続き）

トラブル	解決方法
メモリ カード リーダ（一部のモデルのみ）が、メモリ カードを読み込めない（続き）	<p>メモリ カードがサポートされている種類（CompactFlash (I、II、およびMicrodrive)、メモリ スティック、メモリ スティックPRO、マルチメディア カード、SecureDigital (SDおよびSDHC) カード、SmartMediaカード、xDピクチャ カードなど）であることを確認します。一部のモデルでは、その他の種類（SDHC (Secure Digital High-Capacity) など）のメモリ カードもサポートしている場合があります</p> <hr/> <p>メモリ カードが正しいスロットに完全に挿入されていることを確認します</p> <hr/> <p>メモリ カードの接続部分に、穴や金属端子を塞いでいる汚れやごみがないかどうかをチェックします。軽く湿らせた、毛羽立たない柔らかい布で端子をクリーニングします。必要に応じて、メモリ カードを交換します</p>

## ソフトウェアの問題の修復

お使いのコンピュータでは、通常の動作中、オペレーティング システムおよびインストールされたソフトウェア プログラムが使用されます。ソフトウェアが原因でコンピュータが正常に動作しない、または停止する場合、その問題を修復できることがあります。

ソフトウェアの修復には、コンピュータの再起動だけで済む簡単なものもあれば、ハードドライブ上のファイルからシステムの復元を実行する必要があるものもあります。

### ソフトウェアの修復の概要

このセクションには、ソフトウェアのトラブルが発生した場合に、コンピュータを修復する方法を示します。作業は、この概要に示されている順番で実行する必要があります。

- 1 コンピュータの再起動（12ページの「コンピュータの再起動」を参照）
- 2 コンピュータの電源切断（10ページの「コンピュータの電源切断」を参照）
- 3 ドライバの更新（56ページを参照）
- 4 Microsoftの[システムの復元]（57ページを参照）
- 5 ソフトウェア プログラムおよびハードウェア ドライバの再インストール（58ページを参照）
- 6 システム リカバリ（詳しくは62ページの「システム リカバリ」を参照）

### ドライバの更新

ドライバはプリンタ、ハードドライブ、マウス、キーボードなどの接続されたデバイスとコンピュータのやり取りを可能にするソフトウェア プログラムです。

ドライバを更新するには、また、新しいドライバで問題が解決されない場合にドライバの以前のバージョンに戻すには、以下の手順で操作します。

- 1 **Windows Vista**のスタート ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして、[プロパティ]を選択します。
- 2 [タスク]で[デバイス マネージャ]をクリックします。

- 3 プラス記号 (+) をクリックして、更新または元に戻すデバイスを展開します（たとえば、DVD/CD-ROMドライブなど）。
- 4 目的の項目をダブルクリックします（たとえば、**HP DVD Writer 640b**など）。
- 5 **[ドライブ]**タブをクリックします。
- 6 ドライブを更新する場合は、**[ドライブの更新]**をクリックし、画面の説明に沿って操作します。  
または  
ドライブを以前のバージョンに戻す場合は、**[ドライブを元に戻す]**をクリックし、画面の説明に沿って操作します。

## Microsoftの[システムの復元]

Windows Vistaには、コンピュータの構成を、現在のソフトウェアの問題が発生する以前の構成に復元できる機能が含まれています。この機能は、その時点のコンピュータの設定を記録する「復元ポイント」を作成することで、実行されます。

新しいプログラムがインストールされる時、インストール処理の前に、オペレーティング システムにより自動的に復元ポイントが作成されます。復元ポイントは手動で設定することもできます。

コンピュータ上のソフトウェアが原因と考えられるトラブルが発生した場合は、[システムの復元]を使用して、コンピュータを以前の復元ポイントに戻します。

---

**注：**システム リカバリ プログラムを使用する前に、必ずシステムの復元を実行してください。

---

システムの復元を行うには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 **Windows Vista**のスタート ボタン→**[すべてのプログラム]**→**[アクセサリ]**の順にクリックします。
- 3 **[システム ツール]**→**[システムの復元]**の順にクリックします。**[ユーザー アカウント制御]**が表示されます。**[続行]**をクリックします。**[次へ]**をクリックします。
- 4 画面の説明に沿って操作します。

手動で復元ポイントを追加するには、以下の手順で操作します。

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 **Windows Vista**のスタート ボタン→**[コントロール パネル]**の順にクリックします。
- 3 **[システムとメンテナンス]**→**[システム]**の順にクリックします。
- 4 **[システムの保護]**をクリックします。**[ユーザー アカウント制御]**が表示されます。**[続行]**をクリックします。
- 5 **[自動復元ポイント]**で、復元ポイントを作成するディスクを選択します。
- 6 **[作成]**をクリックします。
- 7 画面の説明に沿って操作します。

ソフトウェアの復元ポイントについて詳しく調べるには、以下の手順で操作します。

- 1 **Windows Vista**のスタート ボタン→**[ヘルプとサポート]**の順にクリックします。
- 2 ヘルプの検索ボックスに「システムの復元」と入力し、**[Enter]**キーを押します。

## ソフトウェア プログラムおよびハードウェア ドライバの再インストール

工場出荷時にインストールされたソフトウェア プログラムまたはハードウェア ドライバが破損した場合は、[リカバリ マネージャ]プログラムを使用してそれらを再インストールできます（一部のモデルのみ）。

---

注：コンピュータに同梱されているCDまたはDVDからインストールしたソフトウェア プログラムを再インストールする場合に、[リカバリ マネージャ]プログラムを使用しないでください。これらのプログラムはCDまたはDVDから直接再インストールしてください。

---

プログラムをアンインストールする前に、再インストールが可能であることを確認してください。もともとインストールした場所（ディスクやインターネットなど）で現在も利用できることを確認します。または、対象のプログラムが、[リカバリ マネージャ]から再インストールできるプログラムの一覧に含まれていることを確認します。

[リカバリ マネージャ]でインストール可能なプログラムの一覧を確認するには、以下の手順で操作します。

- 1 **Windows Vista**のスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[リカバリ マネージャ]の順にクリックします。[ユーザー アカウント制御]が表示されます。[続行]をクリックします。
- 2 [アドバンスドオプション]→[お使いのコンピュータに付属のソフトウェア プログラムを再インストールしてください]→[次へ]の順にクリックします。
- 3 [ソフトウェア プログラムの再インストーラへようこそ]画面で[次へ]をクリックします。プログラムの一覧が表示されます。該当するプログラムがあるか確認します。

プログラムをアンインストールするには、以下の手順で操作します。

- 1 すべてのソフトウェア プログラムおよびフォルダを閉じます。
- 2 破損したプログラムをアンインストールします。
  - a **Windows Vista**のスタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします。
  - b [プログラム]で[プログラムのアンインストール]をクリックします。
  - c 削除するプログラムを選択し、[アンインストール]をクリックします
  - d アンインストールの手順を続行する場合は[はい]をクリックします。

[リカバリ マネージャ]を使用してプログラムを再インストールするには、以下の手順で操作します。

- 1 **Windows Vista**のスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[リカバリ マネージャ]の順にクリックします。[ユーザー アカウント制御]が表示されます。[続行]をクリックします。
- 2 [アドバンスドオプション]→[お使いのコンピュータに付属のソフトウェア プログラムを再インストールしてください]→[次へ]の順にクリックします。
- 3 [ソフトウェア プログラムの再インストーラへようこそ]画面で[次へ]をクリックします。
- 4 インストールするプログラムを選択して[次へ]をクリックし、画面の説明に沿って操作します。
- 5 再インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。



---

注：最後の手順を省略しないでください。ソフトウェア プログラムまたはハードウェア ドライバのリカバリが完了したら、コンピュータを再起動する必要があります。

---

## メンテナンス

このセクションで説明する作業を行うことで、お使いのコンピュータのトラブルを防止できます。また、将来トラブルが発生した場合に、重要な情報を簡単に復元できます。

### メンテナンス作業

単純なメンテナンスを実行し、コンピュータが最高のパフォーマンスで動作するようにすることが重要です。

#### 毎週

ソフトウェアのクリーンアップ [ディスク クリーンアップ]、または他社製の安全なリーニングツールを使用して、システムの動作を低下させる原因となる、蓄積された不要なファイルや一時ファイルを削除します。また、不要になったプログラムを確認して、それらをアンインストールします

デフラグ ディスク デフラグ プログラムを実行して、ハードディスクを最適な状態に保ち、システム パフォーマンスを向上させます。この作業を頻繁に実行しても、システムに害を与えることはありません

ウィルス スキャン 完全なウィルス スキャンを毎週実行することにより、知らないうちに入り込む可能性があるウィルスをキャッチできます。ほとんどのウィルス対策製品には、これを自動的に追跡するスケジューリング機能があります

#### 毎月

ハードウェアのクリーンアップ コンピュータの内部および外部をすべてクリーニングします

ソフトウェアの更新 [Windows Update]を使用して、オペレーティング システムのバグを修正し、パフォーマンスを向上させることができます。また、ハードウェアのドライバ更新プログラム、および使用しているプログラムの新しいバージョンの確認も行います

ハードディスクの診断 ハードディスクの障害を、被害が出る前に検出できる場合があります

#### 毎年

システム リカバリ コンピュータの使用方法にもよりますが、システムは、いつかは故障する可能性があります。システム リカバリ プログラムを使用して、インストールされていたWindowsオペレーティング システムをいったん完全に消去し、初めてシステムの電源を入れたときの元の構成に復元することができます。事前に必ずバックアップを作成します。リカバリを実行する前に、62ページの「システム リカバリ」で詳しい説明を参照してください

## データ バックアップ ディスクの作成

お使いのコンピュータにインストールされているDVD作成ソフトウェアを使用して、個人用ファイル、電子メール メッセージ、およびWebサイトのお気に入りなどの重要な情報のバックアップ ディスクを作成できます。また、データを外部ハードドライブに移動することもできます。

バックアップ ディスクへのデータの書き込みには、書き込み検証機能のあるソフトウェアを使用してください。この検証機能とは、ハードディスク上のデータとディスクにコピーされたデータを比較し、正確なコピーであるかどうかを確認するものです。ディスク作成ソフトウェアの種類によっては、この機能を手動で有効にする必要があります。

ディスクの作成で問題が発生した場合は、別の種類または別の製造販売元のメディアで試してみます。また、Windowsエクスプローラを使用してファイルを表示し、内容がコピーされていることの確認も行います。Windowsエクスプローラを開くには、**Windows Vista**のスタート ボタンを右クリックし、**[エクスプローラ]**をクリックします。

## システム リカバリ ディスクの作成

これは、お使いのコンピュータが正常に動作している時に1回だけ実行する必要がある作業です。将来、コンピュータにトラブルが発生した場合に、作成したシステム リカバリ ディスクを使用して工場出荷時の設定に復元できます。詳しくは、62ページの「リカバリ ディスクの作成」を参照してください。

## パフォーマンスを高めるためのメンテナンス作業

以下のメンテナンス作業によって、コンピュータのパフォーマンスを高めることができます。必要に応じて実行してください。

- **使用していないプログラムの削除**：使用していないプログラムがあると、メモリの空き領域が少なくなり、コンピュータの動作が遅くなります。
- **Windows Updateの使用**：アップデートがないか確認するか、または自動的にアップデートが行われるようにスケジュールを設定します。
- **ディスク クリーンアップ プログラムの実行**：一時ファイルや使用されていないファイルを削除して、コンピュータのハードドライブのファイル保存領域を解放します。
- **ディスク デフラグ プログラムの実行**：ハードドライブに保存されている断片化されたファイルを再配置して断片化を解消します。このプログラムを実行しても、コンピュータ上のファイルおよびフォルダの場所には影響はなく、ファイルを開く時のファイル取得時間が短縮されます。
- **ハードドライブのエラー チェック**：Windowsエクスプローラでドライブ名を右クリックして**[プロパティ]**をクリックし、**[ツール]**タブの**[エラー チェック]**の**[チェックする]**をクリックします。

詳しくは、**[Windows ヘルプとサポート]**のヘルプの検索ボックスで各項目を検索してください。33ページの「**[Windowsヘルプとサポート]**の使用」を参照してください。

## 埃、汚れ、熱からのコンピュータの保護

お使いのコンピュータ システムを埃、汚れ、および熱から守ることで、より長く使用できます。埃、ペットの毛やその他のごみが積もることで、部品が過熱したり、キーボードやマウスの動きが滑らかでなく効率が悪くなったりします。埃やごみが付いていないかどうか、システムを1か月に1回確認し、3か月に1回程度クリーニングしてください。

## コンピュータおよびモニタのクリーニング

- 1 電源コンセントからコンピュータのプラグを抜き取ります。
- 2 電源コンセントからモニタのプラグを抜き取ります。
- 3 乾いた清潔な布で、コンピュータの表面およびモニタの埃を取り除きます。
- 4 温かい水で軽く湿らせた清潔な布で、コンピュータの表面およびモニタの汚れを拭き取ります。  
モニタ画面には水分を付けないでください。

---

注：コンピュータまたはモニタの表面にシールの粘着剤や液体が付いている場合は、毛羽立ちのない布にイソプロピル アルコールまたは消毒用アルコールを付けて拭き取ります。

---

- 5 乾いた清潔な布で、コンピュータおよびモニタの表面の水分を拭き取ります。
- 6 乾いた清潔な布でモニタ画面をクリーニングします。よりしっかりとクリーニングする場合は、静電気防止効果のあるスクリーン クリーナを清潔な布に付けて使用します。

## コンピュータの通気孔のクリーニング

通気孔によりコンピュータおよびモニタが冷却されます。十分な通気を確保するため、電池式の小型掃除機で通気孔をクリーニングしてください。（電池式の掃除機を使用することで、感電を防止できます。）

- 1 コンピュータおよびモニタ表面の通気孔に掃除機をかけます。
- 2 コンピュータのコネクタ（USBコネクタ、イーサネット コネクタなど）の内部および周囲に付着したごみを取り除きます。

## キーボードおよびマウスのクリーニング

キーボードのキーをクリーニングする時は、キーや内部のバネが外れないようにするため、電池式の掃除機を「弱」の設定で使用してください。

- 1 キーボードのキーの隙間および縁に掃除機をかけます。
- 2 乾いた清潔な布にイソプロピル アルコールを付けて、キーボードのキーおよびその周囲をクリーニングします。
- 3 洗剤で軽く湿らせた布で、マウスの本体およびコードを拭きます。

ボール式マウスを使用している場合は、内部のボールおよびローラーを以下の手順でクリーニングします。

- 1 マウスを裏返します。
- 2 ボールのカバーを反時計回りに回転させて、カバーを取り外し、ボールを取り出します。
- 3 ボールを洗剤で洗い、温水で洗い流します。
- 4 イソプロピル アルコールで軽く湿らせた綿棒で、マウス内部のローラーをクリーニングします。
- 5 ボールおよびローラーが完全に乾いたら、ボールおよびカバーを取り付けなおします。

## システム リカバリ

システム リカバリでは、ハードドライブの内容を完全に消去し、フォーマットします。これにより、これまでに作成したすべてのデータ ファイルも削除されます。システム リカバリにより、オペレーティング システム、プログラム、およびドライバが再インストールされます。ただし、工場出荷時にコンピュータにインストールされていないソフトウェアは、手動で再インストールする必要があります。これには、コンピュータに同梱されているCDからインストールしたソフトウェア、およびコンピュータ購入後にインストールしたソフトウェアが含まれます。

システム リカバリの実行方法を以下から選択する必要があります。

- リカバリ イメージ：ハードドライブに格納されているリカバリ イメージからシステム リカバリを実行します。リカバリ イメージは、工場出荷時のソフトウェアのコピーが含まれたファイルです。ハードドライブ上のリカバリ イメージからシステム リカバリを実行するには、63ページの「Windows Vista スタート メニューからのシステム リカバリの開始」を参照してください。

---

注：リカバリ イメージは、ハードドライブの、データ保存に使用できない領域を使用します。

---

- リカバリ ディスク：ハードドライブに格納されているファイルから作成したリカバリ ディスクのセットから、システム リカバリを実行します。リカバリ ディスクを作成する方法については、以下の項目を参照してください。

### リカバリ ディスクの作成

このセクションで説明する手順を実行して、ハードドライブに格納されているリカバリ イメージから、リカバリ ディスクのセットを作成します。このイメージには、工場出荷時にコンピュータにインストールされていたオペレーティング システムおよびソフトウェア プログラムのファイルが含まれています。

お使いのコンピュータで作成できるリカバリ ディスクは1セットのみです。また、作成したリカバリ ディスクは、お使いのコンピュータでのみ使用できます。

リカバリ ディスクを作成した後、ハードドライブの使用可能領域を増やしたい場合は、リカバリ イメージを削除できます。

---

注：リカバリCDまたはDVDを作成していない場合は、リカバリ イメージを削除しないでください。

---

### リカバリ ディスクの選択

リカバリ ディスクを作成するには、コンピュータにDVD書き込みドライブが搭載されている必要があります。

- システム リカバリ ディスクの作成には、DVD+R、DVD-R、DVD+R DL、またはDVD-R DLの空のメディアを使用します。
- DVD+RW、DVD-RW、DVD+RW DL、DVD-RW DL、またはCDディスクは、リカバリ ディスクの作成に使用できません。

リカバリ ディスク セットを作成する場合は、高品質のディスクを使用してください。リカバリ ディスク作成プロセスでは、非常に高い基準での検証処理が行われます。「ディスク書き込み時の記録エラー」または「ディスクの検証中にエラーが検出されました」などのエラー メッセージが表示される場合があります。

ディスクに問題があるために、そのディスクを使用できない場合があります。新しいディスクを挿入して再度試すように要求するメッセージが表示されます。ディスクを使用できないことは異常ではありません。

リカバリ ディスクに使用されるディスクの数は、お使いのコンピュータのモデルによって異なります（通常は1~3枚です）。リカバリ ディスク作成プログラムの画面上に、必要な空のディスクの数が示されます。

この作業は、ディスクに書き込まれた情報が正しいかどうかを確認するために、ある程度の時間がかかります。作業はいつでも中止できます。次にプログラムを実行する時は、中止した場所から再開されます。

システム リカバリ ディスクを作成するには

- 1 開いているすべてのプログラムを閉じます。
- 2 **Windows Vista**のスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[システムのリカバリ ディスクを作成]の順にクリックします。[ユーザー アカウント制御]が表示されます。[続行]をクリックします。
- 3 画面の説明に沿って操作します。作成したリカバリ ディスクにはラベル（リカバリ1、リカバリ2など）を付けます。
- 4 安全な場所に保管してください。

## システム リカバリのオプション

システム リカバリは以下の順序で実行する必要があります。

- 1 ハードドライブを使用して：Windows Vistaのスタート メニューから
- 2 ハードドライブを使用して：システムの起動中にキーボードの[F11]キーを押す
- 3 作成したリカバリ ディスクから
- 4 HPのサポート窓口で購入したリカバリ ディスクから リカバリ ディスクを購入するには、<http://welcome.hp.com/country/jp/ja/support.html>にアクセスし、ソフトウェアおよびドライバのダウンロード ページでお使いのコンピュータのモデルを検索します。

### Windows Vistaスタート メニューからのシステム リカバリの開始

コンピュータが機能しており、Windows Vistaを使用できる場合は、以下の手順でシステム リカバリを実行します。

---

注：システム リカバリ オプションにより、コンピュータの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブルディスクにバックアップしておいてください。

---

- 1 コンピュータの電源を切ります。
- 2 モニタ、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB接続機器、プリンタなど）を、コンピュータからすべて取り外します。
- 3 コンピュータの電源を入れます。
- 4 **Windows Vista**のスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[PCヘルプとツール]→[リカバリ マネージャ]の順にクリックします。[ユーザー アカウント制御]が表示されます。[続行]をクリックします。
- 5 [Recovery Managerへようこそ]ウィンドウで[アドバンスドオプション]ボタンをクリックします。

- 6 [購入時の状態にコンピュータを復元]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 7 次の画面で[次へ]をクリックします。  
コンピュータが再起動します。

---

注：システムのリカバリ パーティションが検出されなかった場合、リカバリ ディスクを挿入するよう求められます。ディスクを挿入し、65ページの「リカバリ ディスクからのシステム リカバリの開始」の手順7に進みます。

---

- 8 システム リカバリを行うよう求められたら、[はい]→[次へ]の順にクリックします。
- 9 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、[ファイルを最初にバックアップしてください]ボタンをクリックします。それ以外の場合は、[ファイルをバックアップせずに復元する]ボタン→[次へ]の順にクリックします。  
システム リカバリが開始します。システム リカバリが完了したら、[完了]をクリックしてコンピュータを再起動します。
- 10 登録処理を行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
- 11 コンピュータの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピュータの電源を入れます。
- 12 66ページの「リカバリ手順実行後の作業」の手順を実行します。

#### システム起動中のシステム リカバリの開始

Windows Vistaを使用できないが、コンピュータが機能する場合は、以下の手順でシステム リカバリを実行します。

---

注：システム リカバリ オプションにより、コンピュータの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブル ディスクにバックアップしておいてください。

---

- 1 コンピュータの電源を切ります。必要であれば、コンピュータの電源が切れるまで電源ボタンを押したままにします。
- 2 モニタ、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB接続機器、プリンタなど）を、コンピュータからすべて取り外します。
- 3 電源ボタンを押し、コンピュータの電源を入れます。
- 4 起動中にHP Inventのロゴが表示されたら、[Recovery Manager]ウィンドウが表示されるまで、キーボードの[F11]キーを繰り返し押します。
- 5 [アドバンスドオプション]ボタンをクリックします。
- 6 [購入時の状態にコンピュータを復元]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 7 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、[ファイルを最初にバックアップしてください]ボタンをクリックします。それ以外の場合は、[ファイルをバックアップせずに復元する]ボタン→[次へ]の順にクリックします。  
システム リカバリが開始します。システム リカバリが完了したら、[完了]をクリックしてコンピュータを再起動します。
- 8 登録処理を行い、デスクトップが表示されるまで待ちます。
- 9 コンピュータの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおして、コンピュータの電源を入れます。
- 10 66ページの「リカバリ手順実行後の作業」の手順を実行します。

## リカバリ ディスクからのシステム リカバリの開始

このセクションでは、62ページの「リカバリ ディスクの作成」の説明に沿って作成したリカバリ ディスクからシステム リカバリを実行する手順について説明します。

---

注：システム リカバリ オプションにより、コンピュータの購入後に作成またはインストールしたすべてのデータまたはプログラムが削除されます。残しておきたいデータは、必ずリムーバブル ディスクにバックアップしておいてください。

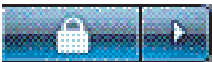
---

リカバリ ディスクを使用してシステム リカバリを実行するには、以下の手順で操作します。

- 1 コンピュータが動作する場合は、残しておきたいすべてのデータ ファイルをDVDにバックアップします。完了したら、ディスク トレイからバックアップ ディスクを取り出します。



注意：ハードドライブ上のすべてのデータが削除されます。バックアップを行わない場合、すべてのデータが失われます。

- 2 リカバリ ディスク#1をDVDドライブ トレイに挿入し、トレイを閉じます。
- 3 コンピュータが動作している場合は、**Windows Vista**のスタート ボタン→ロック ボタンの隣の矢印ボタン→[シャットダウン]の順にクリックします。

または  
コンピュータが応答しない場合は、コンピュータの電源が切れるまで、約5秒間電源ボタンを押したままにします。
- 4 モニタ、キーボード、およびマウス以外に接続されている周辺機器（USB接続機器、プリンタなど）を、コンピュータからすべて取り外します。
- 5 電源ボタンを押し、コンピュータの電源を入れます。  
システム リカバリをディスクとハードドライブのどちらから行うかを選択するウィンドウが表示される場合があります。
- 6 リカバリ ディスクから行うオプションを選択し、[次へ]をクリックします。
- 7 [Recovery Managerへようこそ]ウィンドウで[アドバンスドオプション]ボタンをクリックします。
- 8 [購入時の状態にコンピュータを復元]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 9 ファイルをバックアップするよう求められ、まだバックアップを行っていない場合は、[ファイルを最初にバックアップしてください]ボタンをクリックします。それ以外の場合は、[ファイルをバックアップせずに復元する]ボタン→[次へ]の順にクリックします。
- 10 次のリカバリ ディスクを挿入するよう求められたら、ディスクを挿入します。
- 11 [リカバリ マネージャ]の処理が完了したら、システムからすべてのリカバリ ディスクを取り出します。
- 12 [完了]をクリックしてコンピュータを再起動します。

## リカバリ手順実行後の作業

- 1 [Windowsセットアップ]画面の説明に沿ってセットアップ手順を実行し、最後の画面で[スタート]をクリックしてWindowsデスクトップを表示します。
- 2 インターネットの接続設定を行います。
- 3 コンピュータの電源を切り、すべての周辺機器を接続しなおしてから、コンピュータの電源を入れます。
- 4 コンピュータに付属のソフトウェアおよび追加で購入したソフトウェアを再インストールします。
  - コンピュータに付属のソフトウェアの一部は、システム リカバリ ソフトウェアによりすでに再インストールされている場合があります。
  - ソフトウェア プログラムの更新を行っていた場合は、再度更新プログラムをインストールします。更新プログラムは通常ソフトウェアの製造販売元のWebサイトからダウンロードできます。
- 5 Windows Updateを実行して、Microsoftから重要な更新プログラムを入手します。
  - a **Windows Vista**のスタート ボタン→[コントロール パネル]の順にクリックします。
  - b [セキュリティ]の[更新プログラムの確認]をクリックします。
  - c [更新プログラムのインストール]をクリックします。
- 6 コンピュータを再起動します。(一部の更新プログラムは、再起動するまでインストールが完了しません。)
- 7 [HP Update]を実行して、HPから重要な更新プログラムを入手します。
  - a **Windows Vista**のスタート ボタン→[すべてのプログラム]→[HP]フォルダ→[HP Update]の順にクリックします。
  - b 画面の説明に沿って操作し、ドライバおよびソフトウェアの更新プログラムをダウンロードします。
- 8 システム リカバリの前にバックアップを行った場合は、バックアップ メディアからハードドライブに、バックアップ データ ファイルをコピーします。
- 9 システムで最新のセキュリティ ソフトウェアが実行されていることを確認します。



# 索引

<b>英数字</b>			
8 cmディスク、使用	26	『快適に使用していただくために』	35
CD/DVDディスクの取り出し	26	クリーニング	60
CD/DVDドライブ、使用	26	更新	
CyberLink DVD Suite		ドライバ	56
機能	30	コネクタ	
CyberLink LabelPrint		オーディオ ライン出力	5
LightScribeラベルの作成	27	オーディオ ライン入力	5
HDMI、ディスプレイからサウンドを聴く	41	コンピュータ	2
HP Easy Backup	29	赤外線出力 (IR OUT)	8
HP Media Drive	25	赤外線入力 (IR IN)	8
自動オン/オフ機能	26	ヘッドフォン	5
HPポケット・メディア・ドライブ	25	モニタ	4
LAN (ローカル エリア ネットワーク)		コンピュータ	
アンテナ	7	クリーニング	60
イーサネットLANの接続	3	コンピュータの電源投入	9
セットアップ	7	セットアップ	1
無線LANデバイスの確認	13	ファイルの転送	21
無線LANデバイスの接続	7	ヘルプとツール	34
LightScribe、LightScribeディスク ラベルの作成	27	コンピュータの構成の復元	57
muvee Reveal、機能	30	コンピュータの再起動	12
WEP	14	コンピュータのシャットダウン	10
Windows Vistaアップデート	18	コンピュータのセットアップ	1
Windowsヘルプとサポート	33	コンピュータの電源切断	10
Windowsムービー メーカー、機能	31	コンピュータのロック	10
WPA	14		
<b>あ行</b>		<b>さ行</b>	
新しいコンピュータへの情報の転送	21	サージ保安器	1
アップデート		サポートWebサイト	33
Windows Vista	18	システム リカバリ	56, 62
システム	18	システム リカバリ ディスク、作成	60, 62
安全に関する警告	1, 35	システムの復元	57
イーサネット ネットワーク ハブ	3	システムの復元、Microsoft	57
イーサネット接続	7	周辺機器	2
インターネット セキュリティ	17	手根管症候群	35
ウィルス対策、プログラムのインストール	20	スピーカ	
オーディオ コネクタ		コネクタの種類	4
オーディオ ライン出力	5	接続	6
オーディオ ライン入力	5	スリープ モード	10, 11
音量、Windows Vistaでの調整	14	製品マニュアル、画面上	34
		赤外線	
<b>か行</b>		接続、有効	55
カード リーダ、メモリ	23	プラスタ	8
快適な作業	35	レシーバ	8
		接続	
		周辺機器	2

デバイス	21	接続	6
有線ネットワーク	7	ボタン	
ソフトウェア プログラム		HP Easy Backup	29
CyberLink DVD Suite	30	オフ、「コンピュータの電源切断」を参照	10
CyberLink LabelPrint	27	取り出し、CD/DVDドライブ	26
muvee Reveal	30		
Windowsムービー メーカー	31		
再インストール	58	<b>ま行</b>	
ソフトウェア プログラムの再インストール	58	マイク	
ソフトウェアの修復	56	Windows Vistaでの選択	15
		コネクタ	5
<b>た行</b>		コネクタの種類	4
デジタル カメラ		接続	6
接続	21	録音レベルの調整	15
デジタル画像	23	無線	
デバイス		LAN接続	7
接続	21	ネットワーク セキュリティ	14
デバイス、ユニバーサル トレイとケーブル マネージメント	29	ネットワーク デバイス、取り付けの確認	13
電源コネクタ	2	無線LAN	7
トラブルシューティングの一覧	37	無線LANセキュリティ	14
ドライバ、更新	56	メモリ カード リーダ、使用	23
		メンテナンス作業	59
<b>な行</b>		モニタ	
ネットワーク インタフェース アダプタ	3	HDMI接続、サウンドを聴くための設定	41
ネットワーク インタフェース カード (NIC)	7	コネクタ	4
		<b>や行</b>	
<b>は行</b>		ユーザ アカウント、作成	20
ハイパネーション モード	10, 11	有線ネットワーク接続	7
反復運動過多損傷 (RSI)、『快適に使用していたくために』を参照		ユニバーサル トレイとケーブル マネージメント	29
バックアップ	60		
パスワード	16	<b>ら行</b>	
プリンタ		[リカバリ マネージャ]	58
接続	21	リモコン	28
ヘッドフォン		録音レベル、調整	15
コネクタ	5		



